

ラジオ第1放送

*「番組解説」末尾の担当部局は、ラジオセンター以外の場合だけ記載した。

ラジオ第1：定時番組

『いとしのオールディーズ』

(後期) 金 20:05～21:30

第1回01.10.5/1950～70年代の懐かしのアメリカンポップスを中心とした洋楽を、著名な芸人や文化人ゲストの青春時代の思い出話とともに楽しむDJ番組。/司会：青木裕子・三橋大樹アナ

『歌の散歩道』 新 月～金 14:05～14:35

第1回08.3.31/スタジオパーク350スタジオからの生放送。若手からベテランまで、さまざまな歌手が出演、おしゃべりと音楽でつづる。地域公開派遣番組として全国13か所(放送39本)で実施。

『歌の日曜散歩』 日 10:05～11:50

第1回87.4.12/リクエストカードを基に、思い出の曲や懐かしい歌を聴きながら、FAXで寄せられたお便りを次々と紹介する双方向番組。「わが家の料理・ふるさとの味」コーナーでは、リスナー自慢の味を電話で聞きながら、あわせて地域の香りも伝えた。全国8か所で公開放送を行った。/司会：鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『NHKガイド』 土 19:20～19:30

第1回90.10.6/NHKのラジオ、テレビの番組、イベントのPR、番組審議会の報告、『ユア・ソング』などで構成する番組ガイド。/司会：三橋大樹アナ

『NHKジャーナル』 月～金 22:00～22:55

第1回82.4.2/1日の国内外のニュースをせき止めて伝える報道情報番組。「ニュースアップ」のコーナーで、社会の動きを当事者の声や記者解説、専門家の分析を加え掘り下げた。さらに、ディレクターが制作する企画、中継、インタビューなどに加え、NHKのネットワークを生かした地域企画などにより、立体的に“今日”そして“今”を伝えた。7月には「北海道洞爺湖サミット」、1月には「オバマ大統領就任式」にキャスターを派遣し、通常のニュースに加え、現地の息吹をよりホットに伝える試みも行った/キャスター：鹿野陸、中野由貴/ニュースデスク：松本浩司/気象予報士：横山容子

『沖縄熱中倶楽部』

水(最終) 21:30～21:55

第1回07.4.25/「思わず行きたくなる沖縄」を

キーワードに、月1回の沖縄局発・全国向けのカルチャーエンターテインメント。地域発・全中ラジオ番組のさきがけとなっている。年間およそ600万人の観光客が訪れる沖縄の魅力を、地元から鮮度よくゆったりと伝えるのがねらい。ガイドブックだけではわからない独特の文化や習慣、旬の情報などを、琉球民謡や新しい沖縄の音楽とともに、うんちくたっぷりに紹介してきた。案内役は、『連続テレビ小説～ちゅらさん』の居酒屋店長役で知られ、沖縄文化に造詣の深い俳優の藤木勇人さん、聞き手は沖縄局アナウンサー。放送も2年目に突入し、より深く、よりリアルな情報を全国に向けて発信した。/出演：藤木勇人(俳優)、沖縄局アナ/テーマ音楽：カチンバ1551/沖縄局

『おしゃべりクイズ疑問の館』

第3～5火 20:05～21:25

第1回00.3.27/日常生活の素朴な疑問から文学・歴史まで、幅広いクイズで知識の広がりや意外性を楽しんでもらい、クイズを話の糸口に、ゲストがうんちくや思いを語る娯楽情報番組。/司会：内藤啓史アナ

『お楽しみ演芸特選』 新 日 16:05～16:53

第1回08.4.6,最終回09.3.8/演芸会の名人と呼ばれた巨匠の至芸を紹介する。今は亡き落語家、漫才師の名演が今によみがえる。/司会：内藤啓史アナ

『音楽熱中倶楽部』 水 21:30～21:55

第1回07.4.4/人々の心に灯をともし、生きる力を与えてくれる音楽の数々。そんな音楽にまつわるエピソードや思いを語り、幅広いジャンルの音楽でつづる。/DJ：弘兼憲史(漫画家)、北原照久(おもちゃ博物館館長)

『音楽の泉』 日 8:05～8:55

第1回49.9.11/クラシック音楽の古今の名曲を、親しみやすい解説で紹介する番組。/解説：皆川達夫/音楽・伝統芸能番組部

『上方演芸会』

R1 金 21:30～21:55

R2 ㊥土 15:10～15:35

第1回49.4.7/新作漫才を中心に上方演芸を楽しんでもらう公開派遣番組。/主な出演：横山ホットブラザーズ、正司敏江・玲児、大木こだま・ひびきほか/司会：井上善夫ほか/大阪局

『歌謡ドラマ』 火 21:30～21:55

第1回04.3.30/ヒット曲をモチーフにした1話完結のドラマ。ジャンルを問わず誰もが知っている名曲を取り上げ、作品のおもしろさを追求した。/取り上げた名曲：時代おくれの酒場、悲しき口

笛、私鉄沿線ほか

『かんさい土曜ほっとタイム』

土 13:05~16:53

第1回04.4.3/土曜の午後は、関西風味のおしゃべりタイムをコンセプトに、関西の気さくな「しゃべくり」で土曜の午後を楽しく過ごしていただく番組。関西ゆかりのゲストとキャスターがユーモアあふれるトークを展開する「おもしろ人物ファイル」と庶民の声を五七五にのせて共感と笑いで包む「ぼやき川柳アワー」を中心に、文化情報やさまざまな「音」を生かして関西の魅力を伝えるなど、土曜の午後にふさわしい構成で送る。/出演：佐藤誠キャスター、海原さおり、千堂あきは、ほか/大阪局

『きらめき歌謡ライブ』

水 20:05~21:30

第1回05.3.30/歌謡曲、ポップスのベテランから若手歌手まで、フルバンドの生演奏で歌を披露する大型歌謡番組。505スタジオからの公開生放送。/司会：葛西聖司アナ

『きらり10代!』

日 19:20~20:55

第1回04.4.3、最終回09.3.29/10代にとって最も身近なツールである携帯電話やパソコンと連動し、時間帯も10代が家でアクセスしやすい日曜夜に設定。ネット掲示板を使って10代の悩みをリスナーが解決していく「悩み相談 みんなで解決」と、さまざまな職業を紹介する「あこがれ仕事百科」をメインに、リスナーからのメールでお笑いを競い合う「クイズお笑いダービー」や、リクエスト曲を紹介する「きらり音選」、人気の曲を紹介する「きらり10(テン)」などで構成した。/MC：高山哲哉アナ、浜口順子(タレント)

『今夜も大入り! 渋谷・極楽亭』

土 19:30~20:55

第1回06.4.8/土曜の夜は渋谷・極楽亭。ラジオセンター132スタジオからの生放送。若者に支持の高いミュージシャンや文化人が集まり寄席の楽屋談義と落語を楽しむ芸能・文化情報バラエティー番組。/司会：森口博子、三橋大樹アナ/専属落語家：立川志らく、柳家花緑、林家彦いち、柳家喬太郎、林家木久蔵/お客さま：ごひいき筋としてゲスト1人

『真打ち競演』

月 21:05~21:55

第1回78.11.25/落語・漫才・漫談・声帯模写などの話芸を、真打ちクラスの名人芸でじっくりと聴かせる公開派遣番組。08年度は全国18か所で公開録音を実施した。/出演：青空球児・好児、おぼん・こぼん、ケーシー高峰、堺すすむ、桂文楽、昔昔亭桃太郎ほか/委託管理部、エンターテ

インメント番組部、NEP

『新日曜名作座』 新

日 22:15~22:45

第1回08.4.6/森繁久彌、加藤道子のコンビで50年。西田敏行、竹下景子の2人に引き継ぎ、この2人の語り芝居のみでつづる文芸ドラマ。根強いファンも多い。/ドラマ番組部

『新・話の泉』

第1・2火 20:05~20:55

第1回05.4.25/1946年から64年まで続いた人気番組『話の泉』は、卓越した知識と話芸の達人たちが、クイズ形式でうんちくや持論を競った知的エンターテインメント。その心を受け継ぎながら、落語界の論客・立川談志を中心とした各界のご意見番を解答者に迎え、トーク・バトルを展開した。「NHKみんなの広場ふれあいホール」で公開収録。/出演：立川談志、山藤章二、毒蝮三太夫、松尾貴史、嵐山光三郎ほか/司会：渡邊あゆみアナ

『地球ラジオ』

土・日 17:05~18:50

第1回99.4.4/R1と国際放送のラジオ日本に加え、インターネットによる放送同時提供で、全国と全世界に向け発信している。聴取者にメール・FAX・電話などで参加してもらう双方向番組。土曜は世界の暮らしについての聴取者の質問と回答を紹介するコーナー「世界まるごと質問箱」のほか、リスナー自身による現地録音を紹介する「世界・音の旅」も開始、民族音楽の生演奏もある「ワールドミュージックシーン」や「地球情報局」などが主な内容。日曜は「世界井戸端会議」、海外で活躍する日本人に聞く「にっぽんチャチャチャ」、海外の驚くようなおもしろい話を紹介する「地球でっかいゾウ」などで構成。インターネット・サービスにおいては、オンデマンド提供とライブストリーミング提供を継続。海外特集としては、08年度は韓国・プサンからの生放送を実施した。/キャスター：後藤繁榮アナ、大輪香菊

『どうよう楽市』

土 8:35~10:55

第1回07.4.7/団塊の世代をはじめ、活動的な50代・60代に生き方のヒントを提供する番組。女性の声を大切に、本音でリスナーと語り合うのが番組コンセプト。また、インターネットと連動し、リスナーからの投稿をリアルタイムでホームページに掲載、写真投稿も掲載できるプログラムを開発。モニターを見ながら番組を進行していく、デジタル時代にふさわしい双方向番組。年2回、ゲストを招いて「思い出ジュークボックススペシャル」を編成。08年は、7月19日、12月27日に放送。/出演：(7.19)山本潤子(元ハイファイセット)、姫野達也(チューリップ)、(12.27)山田

パンダ（かぐや姫）、紙ふうせん／司会：残間里江子（フリープロデューサー）、大沼ひろみアナ
【いまここにいます】

土曜の朝リスナーはどこにいて何をしているのか。写真とともに投稿。

【楽市カフェ】

団塊世代を中心に、新たなトライをしている人へのインタビュー。

【イチオン中継】

週末のお出かけスポットや団塊世代に人気の場所から中継。／リポーター：飛岡宏年（俳優）、磯山良治（お笑い芸人）

【ここが気になる】

毎回テーマを決め、投稿を募集。直接電話をするなどリスナーとの会話の輪を広げ、団塊世代の意識を探る。

【思い出ジュークボックス】

青春を彩ったエピソードとともに、思い出の曲をリクエスト。

『日曜バラエティー』 新 日 13:05～15:55

第1回08.4.6／スタジオパーク450スタジオからの公開生放送。歌謡曲、漫才、漫談などで構成するバラエティー番組。／司会：山田邦子、古屋和雄アナ

『ぬくだまりの宿 みちのく亭』 新

第2火 21:05～21:30

第1回08.4.8／知っているようで知らない東北の魅力を伝えるトーク番組。奥羽山脈の山懐にある架空の温泉宿「みちのく亭」に毎回多彩なお客が訪れ、宿の名物主人といろり端で楽しい東北談義を繰り広げる。主人としてお客を迎えるのは、東北のこばや文化に詳しいタレントの伊奈かつべいさん。話題は「祭り」「食」「農業」「漁業」「地域興し」など多岐にわたり、会話が進むにつれ、東北の自然や暮らし、人々の心の豊かさが伝わっていく。放送終了後には、国内外からメールが届いた。「ぬくだまる」とは、東北のこばで「あったまる」という意味。／出演：伊奈かつべい、東北各局アナ／仙台局

【ひるのいこい】

R1・FM 月～金 12:45～12:53

土 12:15～12:30

第1回52.11.17／NHKが委嘱した全国各地のふるさと通信員から報告される地域の出来事、産物や農作業の様子、リスナーからの季節の便り、また短歌や俳句を紹介する「くらしの文芸」といった各コーナーを、おなじみのメロディーに乗せて紹介するNHK伝統のDJ番組。月～金曜は『ふる

さとラジオ』枠内。

『ふるさと自慢うた自慢』

『ふるさと自慢コンサート』

土 21:05～21:55

第1回96.4.6／2つの番組を隔週交代で放送。

『ふるさと自慢うた自慢』は、ゲスト歌手2人がチームリーダーを務める男女2チームが、“ふるさと自慢”と“うた自慢”を展開する視聴者参加型地域公開番組。『ふるさと自慢コンサート』は、ゲスト歌手2人がたっぷりと歌を聞かせるステージショー。08年度は、全国24か所で開催。／司会：中野純一アナ

『ふるさとラジオ』 新

月～金 12:20～13:55

(R1・FM 12:20～12:55)

『つながるラジオ』 新

月～金 14:40～16:53

第1回08.4.7『ふるさとラジオ』、第1回08.3.31『つながるラジオ』／お昼のひととき、「ふるさと」をキーワードに、全国各地の地域の情報を伝える『ふるさとラジオ』と、聴取者と電話やFAX、メールで直接つながり、暮らしに役立つ各種情報を盛りだくさんに伝える『つながるラジオ』の2部構成のワイド生番組。『ふるさとラジオ』の12時台は、「ここはふるさと旅するラジオ」をメインに、全国の「ふるさと」を訪ね、ふるさとの「やる気・元気・本気」を紹介。13時台は、全国の道の駅の情報や、全国各地で頑張っている人々と直接電話で結び、NHKの全国ネットを生かした「列島リレーニュース」で全国の今を伝えた。

『つながるラジオ』の15時台は、根強いファンを持つ「電話相談」、16時台は「ラジオ井戸端会議」で双方向性を生かした。金曜は、「金曜旅倶楽部」と題して、週末に向けての情報を提供。週末の全国のイベントの紹介や、各都道府県の観光情報等を中継を交えて紹介した。16時台は「旅の達人」と題し、「旅や食」に関する多彩な情報を提供した。

【ここはふるさと旅するラジオ】

12:23～12:43

第1回07.4.3／小さなステージがついたラジオイベントカー「80ちゃん号」が、全国の市町村を中継しながら巡る旅も4周目。連日、12時20分からの『ふるさとラジオ』枠のメインコーナーとして生放送を続けた。「80ちゃん号」は、地域の話題を取り込んだミニステージショーを全国各地で展開。8月には2台目に交代し、より広いステ

ジで、地域の聴取者に身近に感じてもらえる地域色豊かな番組を全国発信した。08年度も、47都道府県をすべて巡回。中継現場を訪れた聴取者の数はこの1年で198市区町村、210か所、2万2,500人。毎回100人以上が80ちゃん号のもとに集った。話題がある所なら全国どこでも訪ね、日本中の市区町村から放送を届けている。／80アナ：鈴木桂一郎・野方正俊・島田政男・水谷彰宏・森下和哉・滑川和男アナ

「ちょっと寄り道 “道” の駅」

月～金 13:08～13:16

全国約800か所にあるパーキングエリア「道の駅」と結び、その土地の特徴や駅自慢、お国ことばを紹介してもらい、素朴で温かい列島各地の息遣いを伝えた。

「ふるさと元気力」

月～金 13:20～13:27

地域再生、活性化の知恵を探るコーナー。日替わりテーマで、元気な地域の人々に電話で直接インタビュー。金曜は、都内を中心に週末予定されているイベント等の会場から中継。

「お天気耳より情報」

月～金 13:33～13:40

気象協会の渡辺博栄さんが、最新の天気予報を季節の話題とともにわかりやすく伝えた。

「列島リレーニュース」

13:41～13:53

拠点局のアナウンサーがリレーで、各地の“きょう”のニュースを、気象状況等を含めながら伝えた。わずか10数分でふるさとの表情が見える、NHKのネットワークを生かしたコーナー。

「ラジオなぞかけ問答」

14:46～14:55

“1日10分間は楽しいを見つける時間”をキャッチフレーズにした聴取者参加コーナー。話題のことばや季節に関係することばなどを「お題（週3点+月のお題）」に、聴取者から「解」と「その心」をいただく。「お題」は毎週変更し、最終金曜には師範を迎えて「月間賞」を決定。師範は、古今亭志ん輔（落語家）、神田紅（講談師）、天野祐吉（コラムニスト）、泉麻人（コラムニスト）が月替わりで担当。聴取者からの投稿数は月間2,000通前後。9月23日には「なぞかけ問答スペシャル」を2時間にわたって放送。新たな「なぞかけファン」を開拓した。

「電話相談」

月～金 15:10～15:30

『つながるラジオ』の看板コーナー。月曜・火曜は、専門分野ごとの医師が答える「あなたの健康・家族の健康」、水曜は幅広い分野の専門家が身近な疑問に答える「くらし全般（園芸・ペット・住まい）」、木曜は心理カウンセラー等が担当する「こころの相談」。

「気になることば」

月～木 15:45～15:55

日ごろ気になる日本語の使い方、表現について、アナウンス室の“ことばおじさん”梅津正樹アナウンサーが楽しく解説した。

「大使館からこんにちは」

金 15:33～15:55

毎週金曜には各国の在日大使館からゲストを招き、その国ならではの土産、お国自慢の料理、日本とのつながり、イベントなどを紹介した。

「ラジオ井戸端会議」

月～木 16:05～16:53

第1回96.4.8／人生のさまざまな時期に経験する出来事や衣・食・住にかかわる暮らしの中の価値観の問題などをテーマとして取り上げ、聴取者からのFAX・メールをメインに、スタジオゲストとのやり取りで構成する双方向を生かしたコーナー。テーマはより身近で、暮らしの中で“今”気になる話題を取り上げた。30代、40代からも多く意見が寄せられるようになり、携帯からのメールも増えた。FAX・メールは、1日50通から多い時には200通以上寄せられた。

「旅の達人」

金 16:05～16:53

「旅」を入口とした知的情報コーナー。多彩な分野のゲストを招き、「日本を知る旅」「趣味に浸る旅」「味わいの旅」「出会い・触れ合いの旅」「人生の旅」などをテーマに語ってもらった。また、月に1回は音楽評論家・黒田恭一さんとともに「音楽」を生かした構成とした。

『文芸選評』

土 11:05～11:50

第1回84.4.9／投稿された作品を専門家が選び、解説しながら紹介。第1週「俳句」選者：鈴木章和、第2週「おりこみどどいつ」選者：中道風迅洞、第3週「短歌」選者：篠弘、第4週「川柳」選者：大木俊秀・安藤波瑠、隔月。第5週がある時は、各地域での句会の模様を全国に紹介する「ラジオ句会」など。／司会：鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『民謡をたずねて』

R1・FM 土 12:30～12:55

第1回52.1.9／全国の人たちとの触れ合いを大切に、懐かしい民謡の数々を楽しむコンパクトな公開派遣番組。全国16か所で公開収録を実施、年48回放送。／音楽・伝統芸能番組部／⇒p.713

『もぎたて！北海道』 新

第1火 21:05～21:30

第1回08.4.1／雄大な自然、新鮮な食べ物、豊富な温泉など魅力いっぱいの北海道。道内7局のネットワークを生かし、とっておきの最新情報と北海道の魅力を全国に発信した。観光ガイドにも載っていない、知られざる北の大地の観光スポッ

トやアウトドアスポーツなどを、道内7局のアナウンサーが紹介するコーナー「行ってみたい北海道」。定番のジャガイモから、いまや全国区の人気のスープカレーなど、毎回、旬の北海道の食材や食べ物について、知られざる歴史から栽培の苦労までを紹介する「北海道うまいものがたり」まで盛りだくさん。キャスターは北海道出身の講師・神田山陽さん。北海道に拠点を移し、地元で熱い思いを抱く山陽さんの講談の名調子も番組の大きな魅力。彼が特別聴講生として通うふるさとの小学校での子どもたちとの交流を語る「東藻琴小学校だより」も人気を呼んだ。／出演：神田山陽（講師）、道内7局アナ／テーマ音楽：アシアンクッカ／札幌局

『ユア・ソング』

第3～5火 21:25～21:30
（後期）木 21:25～21:30

第1回05.4.1／放送開始80周年を機にラジオから誰でも口ずさめる新しい歌を作り出すことを目指した番組。『歌の散歩道』『NHKガイド』の枠内でも放送した。／楽曲内容：自然を謳歌し、人と自然の共存する21世紀を歌う、家族・ふるさとなど人と人の心を結ぶ歌、生きる喜びと命の大切さを歌う／「と・も・ち・た」「いろいろな白」「ラヂオのうた」ほか

『世の中面白研究所』 新

月 20:05～20:55

第1回08.3.31／日常生活の中でふと疑問に感じること、知りたいことは数知れない。そんな疑問に答える番組。生活、文化、娯楽など毎回違うテーマを取り上げた。所長、副所長に、毎回専門の研究員を迎え、最新の情報と楽しいトークでつつい知識を身に付けてしまえるのがねらい。／所長：小堺一機、副所長：青木裕子アナ

『夜はぶちぶちケータイ短歌』 新

日 21:05～21:55

第1回08.4.6、最終回09.3.29／若い聴取者が携帯電話やパソコンで打った短歌を紹介する双方向番組。2人の進行役に加えプロの歌人、毎回のゲストによるスタジオトークで短歌を紹介した。毎月1つのテーマを定めて短歌を募集したほか、毎週のテーマも設定。12月22日には、GTVとR1との同時生放送を実施し、07年度のETV・R1連動時と比較して2.3倍多い1万3,953首の投稿を得た。09年度の番組改定に伴い新番組『浜マガZ』の1コーナーとして存続することになり、単独番組としての放送は終了。08年度の総投稿数は4万6,530首で、07年度『土曜の夜はケータイ短歌』

の1.25倍であった。／歌人：穂村弘、東直子ほか／司会：だいたひかる、青井実アナ

『ラジオあさいちばん』 月～金 5:13～ 8:30

『土曜あさいちばん』 土 5:13～ 8:30

『日曜あさいちばん』 日 5:13～ 8:30

第1回99.4.1／一日のスタートの「耳で聞く朝刊」を目指した総合情報番組。ニュース・気象はもとより、政治・経済など社会の動きから暮らしの情報まで、ビビッドにわかりやすく伝えた。08年度春・秋の放送文化研究所の調査では、5・6時台ともに聴取率が2.5%を超える日もあり、長期低落傾向にあった聴取率に復調の兆しが見えてきた。

海外総支局や海外リポーター、各放送局や地域リポーターなど、内外のネットワークを十分生かしている。政治・経済・国際などの動きを記者・解説委員・外部の専門家の解説でタイムリーに伝え、列島各地のリポーターは、日本列島各地の季節感とともに、地域色豊かな話題を生き生きと伝えた。台風報道では、番組を柔軟に編成し、台風の通過する地域の委託リポーターからの情報や現場中継、専門家の解説など、常に「安心ラジオ」を心がけた。

月～金の朝5時台は、「ふるさと元気情報」と「健康ライフ」。6時台は、海外の総支局や現地利ポーターから世界の動きを伝える「ワールドリポート」、08年11月1日に80周年を迎えた「ラジオ体操」（この日『土曜あさいちばん』は特集番組を放送し500通を超える反響で根強い人気を証明）。後半は、「ビジネス展望」。7時台は、ニュースと関連情報、地域情報を中心に構成。定時ニュース後の「ニュースアップ」では最新のニュースや関心の高い事象を解説。「中国・ワールドリポート」ではワシントン、ニューヨークからの生レポートなど、時差を生かしてアメリカや世界の動向を伝えた。08年は北京オリンピック開催にあたり、中国国際放送局（CRI）からのレポートを毎週放送。四川大地震の際にはCRIのアナウンサーに現地に直行してもらい、携帯電話でレポートをほぼ2か月にわたって放送した。7:40～8:00の地域情報では、首都圏放送センターと連携し、聴取者の関心と呼ぶ話題を精力的に紹介した。8時台は、解説委員による「時の話題」、そして07年度までは8時台後半に伝えていた「列島リレーニュース」を8時13分から26分の間で伝えた。『ラジオあさいちばん』の中でこのコーナーを放送するようになって日本全国の空模様・動きがわかるようになったと評価が高まった。「健康ライフ」

「ビジネス展望」を、放送後1週間「ラジオあさいちばん」のホームページでストリーミング提供したところ、07年に比べてアクセス数が20倍になった。

土曜は、ニュース・経済情報はしっかりフォローしつつ、週末を意識してゆったり編成。5時台は「海外元気情報」「新聞を読んで」、6時台は、「著者に聞きたい 本のツボ」、全国各局の制作による「列島音の旅」を放送。7時台は、「週末スポーツ情報」。8時台は、「時の話題」と「列島リレーニュース」となり、月から金曜までとはほぼ同じ内容となった。

日曜は、くつろぎ感のある編成。5時台は「季節の野鳥」「当世キーワード」「音に会いたい」。6時台後半は「カルチャー&サイエンス」、7時台は、各地の話題を地域局と結んで「リレーニュース・郷土の話題」、7時台後半は「日曜訪問」を放送。／キャスター：（月～金）濱中博久アナ、遠田恵子、坂本京子（気象予報士）、山下信アナ、佐治真規子、伊藤みゆき（気象予報士）、3人で隔週（土・日）野口博康アナ、中島裕子、安西浩子（気象予報士・10月～）

「ふるさと元気情報」

月～金 5:18～ 5:25, 5:45～ 5:52

全国各地の約70人の「あさいちさん」による各地の朝の表情とトピックスを伝える「列島あさいちさん」（第1回97.4.1）と、ラジオセンターと各局とのネットワークを活用して委託した全国約50人（各局の元・現役女性リポーター）の「あさいちさん」が、全国の朝の表情と各地の生き生きした話題を伝える「ふるさとあさいちレポート」（第1回97.4.1）を1つにまとめて「ふるさと元気情報」とし、日本各地の地域興しに奮戦する人々を全国約120人の「お元気さん」が生電話で紹介した。08年9月の金融危機以降は、この番組で頻繁に伝えた手作りの地域興しイベントに関心が高まり、午前5時台にもかかわらず2%を超える聴取率を記録した。

【健康ライフ】 月～金 5:38～ 5:45

第1回97.4.1／健康について関心を高めることで、「病気」にならず、病気になっても克服する「元気」を持ってもらおうという健康情報番組。対談形式で、知識豊かな専門家がわかりやすく解説する。特に年配者の関心が高い。

「ラジオ体操」

R1 月～日 6:30～ 6:40

R2 月～土 8:40～ 8:50

月～土 12:00～12:10

月～土 15:00～15:10

第1回28.11.1／47.9.1～4年間中断、51.5.6に放送再開／08年はラジオ体操の放送開始から80年の記念の年。記念日の11月1日には、1928年（昭和3年）にラジオ体操が産声を上げた東京都港区愛宕山のNHK放送博物館前からR1とETVで同時生放送を実施した。R1で53年から始まった「夏期巡回ラジオ体操会」は、夏の風物詩としても親しまれ、08年も全国43会場から生放送で伝えた。このほか、78年から行われている「特別巡回ラジオ体操会」は11会場から生中継、「1,000万人ラジオ体操・みんなの体操祭中央大会」は東京都で開かれ、R1とGTV、BS2で同時生中継した。／体操指導：長野信一、多胡肇、西川佳克、岡本美佳／ピアノ伴奏：幅しげみ、名川太郎、加藤由美子／解説本、DVD発行／スポーツ業務監理室、JN

【ビジネス展望】 月～金 6:43～ 6:52

第1回82.4.5（週1～2回）、現在の形は97.4.1／世界経済や日本経済の動きを、第一線で活躍するエコノミストや経済アナリストがわかりやすく解説。日本経済の現状や再生に向けての動き、米・欧経済の現況などに敏速に対応、世界経済の動向や日本への影響などを分析・解説した。内橋克人さんは病気のため12月まで出演できなかったが、リスナーの強い要望で1月から隔週の放送で復帰。20年以上にわたる朝のラジオ番組への出演などで08年度の第60回「放送文化賞」を受賞した。／出演：内橋克人（評論家）、金子勝（慶応大学教授）、田中直毅（評論家）など15人

【ニュースアップ】 月～金 7:20～ 7:27

7時のニュースの後、関心の高い事柄を深く掘り下げるコーナー。政治経済、国際関係、教育、環境、福祉などをNHK解説委員がタイムリーに解説。社会の動きに柔軟に反応し、適宜テーマを差し替えた。

【時の話題】 月～土 8:05～ 8:13

第1回64.4.6／解説委員による時事解説。政治経済、国際、科学、福祉、文化などそれぞれの専門に応じてコンパクトにわかりやすく伝えた。／解説委員室

【海外元気情報】 土 5:19～ 5:26

「アジア情報」（第1回96.4.6）の名称を変更。政治経済から街の話題まで、アジアの最新情報を伝えた。国際問題評論家・饗庭孝典さんによる解説やアジア渡航者のレポートで、各地の現状・課題などを伝えた。

【新聞を読んで】 土 5:37～ 5:49

第1回53.4.12／全国紙6紙と一部地方紙に1週

間のうちに掲載された紙面から抜粋して、各界の識者が論評する番組。記事内容や、論調、紙面構成などを他紙と比較しながら論じた。／出演：水島朝穂（早稲田大学教授）ほか／解説委員室、第3土曜は大阪局担当

【著者に聞きたい 本のツボ】

土 6:15～ 6:24

今、旬の本の著者に作品が生まれた背景や作品にかけた思いについて聞いた。07年10月から、放送後、ホームページでオンデマンド聴取が可能。

【列島音の旅】 土 6:45～ 6:52

第1回99.4.3／録音構成で、音を通して地域や人々の暮らしを伝えた。各局制作による日本各地の記録。／ラジオセンター、各地域局

【週末スポーツ情報】 土 7:15～ 7:40

第1回99.4.3／週末に行われるスポーツを中心に、第一線で活躍する選手や解説者に見どころを語ってもらった。中継を担当するアナウンサーのレポートも随時取り入れた。

【季節の野鳥】 日 5:19～ 5:28

四季の移り変わりが明確な日本列島には、水辺の鳥から山野の鳥まで季節ごとにさまざまな野鳥が姿を現す。自然豊かな場所だけでなく都会で身近に観察できる鳥も多い。美しい野鳥の鳴き声とともに、「日本野鳥の会」理事の安西英明さんが聞き分け方や観察のポイントを解説。

【当世キーワード】 日 5:33～ 5:39

第1回99.4.4／次々に生まれる新語・流行語。時代を表す新しい動きを「ことば」に注目して紹介。新語アナリストの亀井肇さんが独自に収集した「ことば」を解説。毎回4～5つの「ことば」を取り上げて解説と分析を行い、おのずと社会時評・文明時評となった。第5日曜は、放送文化研究所の調査に基づいた「ことば」にまつわるレポート。

【音に会いたい】 日 5:40～ 5:50

第1回99.4.4／懐かしいあの情景にもう一度会いたい、という聴取者からのリクエストに応じて再現する録音構成。お便りと臨場感あふれる音で構成する、ラジオの特性を生かしたコーナー。若い日の体験がよみがえるという年配の支持者が多い。

【あのころのフォークが聴きたい】

日 6:16～ 6:22

歌手のなぎら健壺さんがフォークの知られざる歴史を名曲の数々とともに紹介。音楽のメッセージ性の大切さについて語った。

【カルチャー＆サイエンス】

日 6:43～ 6:60

第1回02.4.6／文化情報と科学情報をインタビューとレポートで紹介。多様なジャンルで活躍する新しい文化の担い手や新たなムーブメント、先端科学の現場や研究成果を伝えた。

【ボイスレター＆お便り特集】

日 6:50～ 6:53

聴取者からの反響を基に、聴取者の肉声で身近な話題を伝えてもらった。毎月最終週はお便りをたっぷり紹介する「お便り特集」。

【リレーニュース・郷土の話題】

日 7:15～ 7:35

第1回58.4、最終回09.3／ふるさとの話題を各局からの多元放送で伝える長寿番組。地域の旬の話題や動きを各局のアナウンサーのリレーで伝えてきたが、08年度で51年の歴史を閉じた。／ラジオセンター、各地域局

【日曜訪問】 日 7:39～ 7:53

第1回97.4.6／あらゆる分野の時の人、話題の人物へのホットなインタビュー。音楽家、作家、映画監督、ボランティア活動家など、多士済々の顔ぶれ。日本人アカデミー賞受賞監督も出演。

『ラジオ深夜便』

R1 月～金 23:20～ 5:00

土 23:10～ 5:00

日 23:45～ 5:00

FM 月～日 1:00～ 5:00

第1回90.4.28／09年3月で放送開始19年。当初より、深夜に仕事をする人や、眠ることができないお年寄り、入院中の人たちなど、落ち着きのある深夜放送を求めている人たちの支持を得てきた。これまで親しんできた世代とともに、新たなリスナー層の開拓を意識した番組作りを進めた。大人のための新しい歌、「深夜便のうた」は、3年目を迎え、3か月に2曲（年間8曲）を新たに選定して毎日放送。また、NHKに残る音声素材を紹介する「深夜便アーカイブス」も2年目となり『三つの歌』『にっぽんのメロディー』『人生読本』『文化講演会』など、昭和に生きた人々の名言の数々を改めて放送した。毎週土曜の生インタビュー「人生“私”流」では、より幅広い分野のゲストを招き、40代・50代の現役世代にも関心の持てる内容にした。毎日伝えている「誕生日の花」「きょうの一句」は季節感あふれるコーナー。午前1時台、各アンカーが企画するインタビュー「母を語る」「わが心の人」「のど自慢旅日記」「歴史に親しむ」はアンカーの個性が出ていると好評。午前4時台で月1回放送している「特集・

わが人生の歌語り」(作家五木寛之)も丸4年目、08年度から「特集・100年インタビュー」も加わった。朗読コーナーは松平定知アナウンサーの語りで藤沢周平作の「用心棒 日月抄」を放送。

96年、季刊でスタートした雑誌『ラジオ深夜便』は、99年から隔月刊、03年11月号からは月刊となった。発行部数は、09年3月現在で約13万9,000部、「深夜便ファン」には欠かせない存在となった。94年11月から始まった「ラジオ深夜便のつどい」は、08年度は全国14か所で開催、3月で181回を数えた。アンカーは、各曜日ごとに2人、計14人の現役またはOB、OGアナウンサー。金曜は、第1～3週は大阪局、第4・5週は地域局が担当。FMはR1と同時放送。

『ラジオドラマ・アーカイブス』 新

第4日 23:15～0:00

第1回08.4.27/NHKアーカイブスに保存されている約4,000本のラジオドラマから、昭和の名作を厳選してそのまま放送。ラジオドラマはその時代の社会状況などを映し出した貴重な文化遺産と言える。後に著名となった作家、脚本家、俳優などが若かりしころ、意欲的に挑んだ作品、現代劇から時代劇、コメディから悲劇まで、実に多様な作品が制作されてきた。番組では、制作当時のエピソードや時代背景などの聴きどころも紹介し、ラジオドラマの魅力を再発見する。08年度の放送は12本。/キャスター：桜井洋子アナ/ライツ・アーカイブスセンター、NEP

『ラジオビタミン』 新

月～金 8:30～11:50

第1回08.3.31/耳から栄養満点!番組を聞くことでリスナーが元気になる、暮らしが豊かになる新番組。これまでのR1のリスナーはもちろん、30代・40代のリスナーまで聴取層を広めることを目指した。/キャスター：村上信夫アナ、神崎ゆう子

「くらしスパイス」 月～金 8:36～8:45

日替わりで、アドバイザーが暮らしに役立つワンポイントアドバイスを提供。/黒川京子(トレンド予報)、和泉昭子(知っとく経済)、近藤典子(衣食住なるほどアドバイス)、千葉望(陰曆で暮らそう)、小倉朋子(心のテーブルマナー)、建部和美(いつまでも美肌)、柳生真吾(真吾流ガーデニング)、佐藤弘道(弘道おにいさんのいつでも体操)、長田渚左(スポーツのつぼ)、小林信也(親子deスポーツ)、渡辺俊雄・渡辺祥子(とっておきシネマ)

「お天気あっちこっち」

月～金 9:05～9:15

リスナーから番組掲示板に風景写真を送ってもらい、それを基に全国の様子や天気を伝える。/気象予報士：伊藤みゆき、坂本京子

「私の愛情レシピ」 月～金 9:15～9:25

料理家が臨場感ある調理音とともにレシピを紹介。金曜はリスナーお勧めレシピを村上アナウンサーが調理する。

「みんなで子育て」 月～金 9:33～9:40

番組掲示板などに寄せられた子育ての悩みを、リスナー同士で共感しあうコーナー。

「おしゃべりスクエア」

月～金 9:45～9:55

毎週テーマを決めてリスナーからお便りを募って紹介。リスナーの声が行き交う共感の広場。直接電話でリスナーの話を聞くこともある。11時35分ごろからも同様のコーナーを放送。

「ときめきインタビュー」

月～金 10:05～10:55

旬の人を中心に、その人の生き方や考え方、ちょっといい話などを生でインタビュー。金曜は、「ときめきカルチャー」。知的好奇心を満たす時間として複数のレギュラーゲストが出演。

「ラジビタ中継隊が行く！」

月～木 11:05～11:15

元気に活動する商店街の様子や街角にあるおもしろ博物館などを中継で伝える。

「ビタミンソング」 月～金 11:15～11:27

80～90年代の曲を中心に、心の栄養になる曲をリスナーのリクエストにより伝える。金曜は11時5分からビタミンソングスペシャル。

『ラジオ文芸館』 土 22:15～22:55

第1回98.4.12/アナウンサーの朗読に音響効果を加え、短編小説の魅力を伝える番組。名作から現代人気作家まで「読みきり」で幅広く紹介している。根強いファンも多く、森浩美さんの作品には、「涙が止まらなかった」など反響が多数寄せられた。08年度は、新作27本、アンコール12本を放送。/アナウンサー室

『列島リレーニュース』

(前期)月～水 19:30～19:45

(後期)月～金 19:30～19:45

その日の日本列島各地の出来事などがよくわかるように、ネットワークを活用して、リレー形式で各地の放送局から地域のニュース・話題を伝える。

『浪曲十八番』

R1 木 21:30～21:55

R2 ㊥日 15:35～16:00

第1回72.10.12／ベテラン、中堅の浪曲師が力演する唯一の定時浪曲番組。日本古来の仁きょう、人情を題材に、新作も含めた多彩な演目で浪曲ファンの期待に応えた。／出演：東家浦太郎、京山倅若、五月一朗、国本武春ほか／委託管理部、エンターテインメント番組部、大阪局、NEP、NPN

『わが人生に乾杯！』

(後期) 木 20:05～21:25

第1回94.11.3／落語、漫才、漫談などの演芸人から俳優、歌手、文化人など各界で活躍する人々をゲストに迎え、人生を振り返り、その人の魅力を余すところなく伝えるトークショー。／司会：山本晋也(映画監督)ほか

『私も一言！夕方ニュース』 新

月～金 17:00～18:50

第1回08.3.31／双方向性を生かした新たなニュース番組。聴取者の「ニュースへの一言」を、メール、留守番電話、FAXなどで募集して紹介するとともに、NHK解説委員の経験があるご意見番のコメントも交えて、ニュースを深く掘り下げた。18時台は、解説委員が「ニュースの魂」や「ここに注目」など、専門性を生かしたコーナーを担当。／キャスター：伊藤博英アナ、有江活子／ご意見番：堀徹男、五十嵐公利

ラジオ第1：特集・特別番組

『朗読の世界へようこそ！～自然・環境・そしていのち』 4.29／13:05～15:55

「自然・環境・そしていのち」というテーマから、宮沢賢治の童話「げんじょうこうまんにん慶十公園林」や、立松和乎の作品「半島・知床」、さらに、屋久島で生涯を終えた作家・山尾三省の作品を選び、アナウンサーや作家自身の朗読で紹介した。また、ゲストとの対話を通じて、作品に込められたメッセージを読み解いていった。「NHKみんなの広場ふれあいホール」からの公開生放送。環境キャンペーンの一環としても、環境問題についてストレートに考えさせられる作品「ハチドリの一としづく」を朗読。環境キャンペーンへの文学からのアプローチを試み、現代を生きる市民へのメッセージを伝えた。／ゲスト：立松和乎(作家)ほか／司会：大沼ひろみアナ／アナウンス室

『外国大使館員が語る“ワタシの好きなニッポン”』 4.29／16:05～17:55

毎週金曜、定期的に放送してきた「大使館から

こんにちは」の特集番組。日本国内にある各国の大使館の大使館員をゲストに招き、彼らが感じた「日本」の魅力を語ってもらった。／ゲスト：スネジャナ・ヤンコビッチ臨時代理大使(セルビア)、ベテル・ホリー一等書記官(チェコ)、カラム・ハリ文化参事官(エジプト)、黛まどか(俳人)

『あと100日！日中オリンピック最新情報』

4.29／19:20～21:55

北京オリンピックを100日後に控えた日中の最新情報を、北京からの生中継やさまざまなゲストを交えて伝えた。日本期待のアスリートだけでなく、初めてオリンピックを迎える中国のスポーツ事情、チベット問題に端を發した聖火リレーの混乱、食の安全など、不安を抱えながら中国がどのようにオリンピックを迎えようとしているのか現地取材を基に多角的に伝えた。また、金メダルの期待がかかる野球・星野ジャパン・守備走塁コーチの山本浩二さんやマラソン日本代表の野口みずきさんが電話で出演、オリンピック本番への準備や意気込みなどを語ってもらった。／スタジオゲスト：二宮清純(スポーツジャーナリスト)、増田明美(女子マラソン元日本代表)／司会：西田善夫(スポーツアナリスト)、中島裕子

『日本のカルテ 希望の国への処方箋～今、問われる学力』 4.29／22:15～23:00

政治・経済・社会…日本の直面するさまざまな問題を病巣とみなし、日本を代表する有識者に問題解決のための処方箋を提示してもらおう新番組。シリーズの最初は、世界的な学力調査で順位が下がり続ける日本の学力問題をとり上げた。急速に順位を上げたフィンランドと、ドリル学習と総合学習の両方を組み合わせることで学力の向上に成功した長野県の小学校の例を紹介しながら、日本の学校の学力向上に必要な処方箋をゲストに描いてもらった。／出演：宋文州(ビジネスコンサルタント)、福田誠司(都留文科大学教授)、山下信アナ

『千年の時空を超えて～源氏物語の魅力』

5.3／13:05～14:55

08年は、『源氏物語』が記録上で確認されてからちょうど千年目にあたる。千年の時を経ても尽きぬ「源氏物語」の魅力語った。宇治市の「源氏物語ミュージアム」をメイン会場に、宇治川や宇治・平等院など、源氏物語ゆかりの場所からの中継を交えながら、「源氏物語」の魅力を伝えた。紫式部ゆかりの大津市・石山寺からはその一節を朗読で紹介した。京都局提案に大津局が参加。／

出演：清水義範（作家），山本淳子（京都学園大学教授），瀬戸内寂聴（作家，録音インタビュー）／朗読：加賀美幸子／司会：吉田賢アナ

『お楽しみ演芸特選 初夏の特別興行』

5. 3/15:05～15:55

今は亡き落語の名人，上手，人気者の芸をたっぷり楽しんでもらおうという企画。三代目三遊亭金馬「たがや」，三代目桂三木助「化物使い」，四代目柳亭痴楽「八百屋お七」，五代目古今亭志ん生「風呂敷」。／案内：内藤啓史アナ

『鎌田實 いのちの対話』

5. 5, 7.21, 10.13, 1.12/ 9:05～11:50
(総集編) 3.20/ 8:35～11:50

医師の鎌田實さん（諏訪中央病院名誉院長）をホスト役に，ゲストやリスナーとともに「いのち」を考える番組。公開放送のかたちで地域放送に貢献。来場者は会場インタビューで，リスナーはメールやFAXで対話に参加した。08年度は公開放送を4回実施。また，4回の放送の中で心に残ったゲストの言葉と，公開放送当日紹介しきれなかったリスナーからのメールやFAXを紹介し，08年度を振り返る『鎌田實 いのちの対話～総集編』も放送。司会はいずれも村上信夫アナ。／

(5.5)「生き方の作法」／会場：京都府長岡京市／ゲスト：稲盛和夫（京セラ名誉会長），鷺田清一（大阪大学総長），越川禮子（NPO江戸しぐさ理事長），高木克美（和太鼓奏者）／(7.21)「子どもの心」／会場：福岡県福津市／ゲスト：高見映（俳優），中島啓江（歌手），松崎運之助（元夜間中学校教師）／(10.13)「笑いの処方箋」／会場：札幌市／ゲスト：大村昆（喜劇俳優），中島英雄（中央群馬脳神経外科病院理事長・落語家）／(1.12)「病気とつきあう」／会場：新潟県長岡市／ゲスト：寺内タケシ（エレキギター奏者），石川ひとみ（歌手），二代目高橋竹山（津軽三味線奏者）

『ホリデーライブ in 渋谷DEども』

5. 5～6/13:05～13:55

5月の連休に「渋谷でDEども'08」と銘打って開催された催しの一環として，スタジオパークのスタバ・ステージからの公開生放送。連休の2日間，訪れた観客を前に歌手が歌を披露し，雰囲気盛り上げた。／出演：（5日）城之内早苗，アツキヨ，藤本美貴，（6日）香田晋，浅田あつこ，秋元順子／司会：（5日）宮川泰夫・（6日）小松宏司アナ

『日本列島 童謡唱歌のある風景』

5. 5/14:05～17:55

「こどもの日」にあわせて，全国各地の童謡唱歌とそれに関わる話題を紹介した。東京の131スタジオと全国7か所を中継で結んでの生放送，さらにレポートも交え，童謡唱歌の魅力をさまざまな角度から伝えた。／出演：若林尚志（NPO理事），石黒彩（元モーニング娘。）／司会：山本哲也アナ

『こうせつと仲間たち～春・秋・冬編』

5. 5, 9.23, 1.12/19:20～20:55

フォーク界のリーダー的存在・南こうせつをホストに，豪華なゲストを招いてトークとライブ演奏を楽しんだ。／出演：（春）黒柳徹子，新垣勉，（秋）加山雄三，池田理代子，（冬）黛まどか，加藤和彦／ホスト：南こうせつ／パートナー：石川ひとみ

『渋谷アニメランド～今夜はSFアニメにロックオン!』

5. 5/21:05～23:00

アニメの魅力を音で伝える番組の「SFアニメ」特集。アニメの金字塔「宇宙戦艦ヤマト」の波動砲の音など「効果音の重要性」を，当時の音響効果担当者のインタビューなどを交えながら伝えた。また，アニメ評論家によるユニークな解説付きでSFアニメソングの魅力を語り尽くした。／ゲスト：岡田斗司夫（アニメ評論家），野沢雅子（声優），白石涼子（声優）／司会：藤崎弘士アナ

『瀬戸大橋20年～どう活かす 四国・本州とのかけ橋』

5. 6/11:05～11:50

本州と四国を結ぶ「瀬戸大橋」「明石海峡大橋」「来島海峡大橋」の3つの橋がすべて開通して08年でちょうど20年。本州と四国との経済，流通，文化交流は「陸の時代」を迎えた。番組では，行楽シーズンの大型連休中，瀬戸大橋のたもとにあるサービスエリアの様子を中継で挟みつつ，開通からの20年間を振り返るとともに，今後3つの橋を経済・文化などのさらなる発展にどう活かすことができるか，ヒントを探った。／出演：岡山大学大学院教授・中村良平／司会：芳賀健太郎アナ／松山局

『おおいた おもてなしの心』

5. 6/14:05～15:55

大分国体が開催され全国から大勢が集まる年に，自然や豊かな食べ物，人情など大分独自のおもてなしの心をラジオ中継で2時間にわたって紹介した。由布市湯布院町の金鱗湖畔にメインスタジオを置き，大型連休で賑わいをみせるJR由布院駅や共同温泉浴場，農村民泊の宿を中継で結び

ながら「癒しの里」の様子を伝えた。／出演：浜美枝（女優・農政ジャーナリスト）、中谷健太郎（湯布院旅館経営者）／司会：富田典保アナ／中継・レポート：浅野達朗・戸部眞輔・黒田信哉アナ／大分局

『園芸 春の電話相談』

5. 6 / 16:05～17:55

春の園芸シーズンを迎え、草花・花木について、さらにガーデニング全般について、聴取者の電話での質問に専門家がていねいに答えた。また、ガーデニングが趣味という俳優の黒谷友香さんをゲストに迎え、ガーデニング談義に花を咲かせた。／回答者：船越亮二・長岡求（園芸研究家）

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて』

5. 6 / 19:20～19:55

ビッグバンドのスタンダードナンバーを聞きながら、ウィットに富んだおしゃべりを楽しんだ35分。思わずニヤッとする話が聞きもの。年間6本放送。／出演：岩崎博アナ

『京都議定書は守れるか～日本の責任を考える』

5. 6 / 22:15～23:00

地球温暖化の現状や温室効果ガス削減の取り組みを検証するとともに、温暖化防止に向けての日本の役割について考えた。温暖化の影響を受けた国内の事例だけでなく、NHKのネットワークを駆使し、EU・ヨーロッパ連合の温暖化に対する取り組みや、ヒマラヤの水河が溶けている現状などを伝えた。／出演：佐和隆光（立命館大学教授）／司会：三上弥アナ

『温暖化時代の水害にどう備えるか』

6. 5 / 20:05～20:55

地球温暖化が進む中、世界各地で干ばつや集中豪雨などの異常気象が起きている。特に日本では1時間に50ミリを超える集中豪雨が頻発し、大規模な水害の危険が指摘されている。国や自治体も被害想定や救援体制のあり方など検討を始めている。こうした動きやアメリカのハリケーン被害とその後の対策等を取材し、これまでの常識では対応しきれない水害への備えを検証した。／ゲスト：大桃美代子（タレント）／解説：山崎登解説委員

『検証 岩手・宮城内陸地震』

6.21 / 22:10～22:55

6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」の1週間後に放送。現地からの中継で最新情報を伝えるとともに、それまでの情報を基に今回の地震を検証した。また、この地震で初めて機能したとも言われた緊急地震速報についても伝えた。／出

演：阿部勝征（東京大学名誉教授）／司会：松本浩司ニュースデスク、中野由貴（NHKジャーナルキャスター）

『平成20年沖縄全戦没者追悼式』

6.23 / 12:20～12:55

沖縄県糸満市の平和祈念公園で行われた沖縄全戦没者追悼式。この式典の模様を、会場の実況描写や参列者のあいさつを中心に中継した。全国放送は今回が初めて。／出演：吉浜忍（沖縄国際大学教授）／司会：中山庸介アナ／沖縄局

『今夜も大入り！高知 安芸市・極楽亭』

6.28 / 19:30～20:55

『今夜も大入り！渋谷・極楽亭』を地域の公開イベントとして展開。極楽亭の専属落語家のうち、柳家喬太郎、林家彦いちの落語を聞きながら、地域のネタを題材にしたクイズなど生きのいいトークを楽しんでもらった。高知県安芸市の安芸市民会館で5月14日に収録。／出演：柳家喬太郎、林家彦いち／司会：森口博子、三橋大樹アナ

『環境特番“地球温暖化防止”サミット～各国の思わくは、日本の役割は』

6.28 / 22:15～22:55

7月7日から行われた北海道洞爺湖サミットを前に、NHKの海外総支局と東京のスタジオを結んで、参加国の思わくや主張をレポート。そのうえで、スタジオに専門家を招き、サミットの行方を展望した。／出演：西村六善（内閣官房参与）、蟹江憲史（東京工業大学大学院准教授）／司会：三上弥アナ

『地球温暖化防止に向けて 日本は 世界は何ができるか～北海道洞爺湖サミットの成果と課題』

7.12 / 22:15～23:10

北海道洞爺湖サミットが7月9日に閉幕、その成果と課題、結果を検証した。NHKの海外ネットワークを駆使し、先進国側はアメリカとEU、新興国はインドと中国からレポート。また、スタジオに専門家を招き、今後の日本が果たすべき役割などについて考えた。／出演：蟹江憲史（東京工業大学大学院准教授）／司会：三上弥アナ

『みんなで話そう！ラジオ環境サミット』

7.13 / 19:20～21:55

7月7～9日にかけて、北海道洞爺湖サミットが開かれ、各国首脳によって温暖化対策が話し合われた。それを受け、この番組では生活者である私たちに何ができるのか、何をしたらいいのかを視聴者参加で考えた。メールやFAX、留守番電話で意見を募集するだけでなく、インターネット投票システムを利用して、視聴者の環境に対する

意識をデータ化しながら、番組を進行させた。NHKのネットワークを生かし、日本各地の温暖化の影響を受けた事例のレポートや中継、また、海外の事例も紹介した。／出演：末吉竹二郎（国連環境計画特別顧問）、グッチ裕三（タレント）、大桃美代子（タレント）／司会：高山哲哉アナ、中野由貴

『ホリデーライブ イン スタバステージ』

7.21, 9.15, 1.12, 2.11／13:05～13:55
11. 3／12:15～12:55
12.23／14:05～14:55

祝日に『歌の散歩道』の枠を広げ、スタジオパークのスタバステージからの公開生放送。観客を前に歌手が歌を披露し、祝日の雰囲気盛り上げた。／出演：（7月）八反安未果、やなわらばー、ラクシス、（9月）山口ひろみ、鹿島ひろ美、松原健之、（11月）秋元順子、佐々木秀実、（12月）山崎ハコ、樋口了、（1月）ラクシス、ザ・ソウル、（2月）中島啓江、あさみちゆき／司会：宮川泰夫、（12月）小松宏司アナ、（2月）森下和哉アナ

『特集・旅倶楽部～列車と音楽で訪ねるイギリスの旅』

7.21／14:05～15:55

『つながるラジオ』で好評を得ている「旅倶楽部」の祝日特別バージョン。日英修好通商条約締結から150年。国内では、1年を通してさまざまなイベントが行われた。2時間たっぷりイギリスの鉄道にまつわる話とイギリスゆかりの音楽で、関心が高まるイギリスの魅力を伝えた。／ゲスト：デービッド・フィットン（英国大使館公使）、黒田恭一（音楽評論家）、櫻井寛（フォトジャーナリスト）、白井貴子（ミュージシャン）／司会：柿沼郭アナ、石山智恵

『渋谷アニメランド～アニソン特集』

7.21／22:15～23:00

SFアニメソングのリクエスト特集。DJ形式で行い、人気のある13曲を紹介した。番組には、SFアニメソングを歌う牧野由依さん（声優）が電話出演し、熱い思いを語った。また、リクエストの多かったベスト3を発表。昔の名曲から最新の曲までがランクイン。メールを寄せた聴取者の年齢層は、10代3割、20代2.5割、30代2割、40代2割と幅広かった。／司会：藤崎弘士アナ

『夏休み子ども科学電話相談』

7.22～ 8.31／ 8:30～11:50ほか

（高校野球・北京オリンピック期間を除く）

08年で25回という節目を迎え、鴨川シーワールドや多摩六都科学館、ぐんま昆虫の森を中継で結

び現場の臨場感を交えながら伝えた。また、「いのちの不思議」という新ジャンルも設け、生命の神秘に関する質問にも応じた。／回答者：小菅正夫（旭川市旭山動物園園長）、矢島稔（ぐんま昆虫の森園長）、高家博成（元多摩動物公園昆虫飼育係長）、国司真（川崎市青少年科学館学芸員）、永田美絵（プラネタリウム解説員）、藤本和典（日本鳥類保護連盟専門委員）、松田道生（日本野鳥の会評議員）、藤田智（恵泉女学園大学園芸文化研究所准教授）、田中修（甲南大学教授）、伊藤和明（防災情報機構会長）、高柳雄一（多摩六都科学館館長）、篠原菊紀（諏訪東京理科大学教授）、川口幸男（動物コンサルタント）、勝俣悦子（鴨川シーワールド獣医師）、中村桂子（JT生命誌研究館館長）、林公義（横須賀市自然・人文博物館館長）ほか／司会：村上信夫・鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『日本のカルテ』

7.28～29／20:05～20:55

第1夜「日本の食糧をどう確保」

日本が直面している課題を乗り越え、どうすれば未来に希望を持てる国を築けるかを考えるシリーズ。第2シリーズのテーマは、「日本の食糧をどう確保する」。第1夜は、日本の代表的な大規模農家の現状を詳しくレポートし、スタジオゲストに日本の農業の課題と処方箋を語ってもらった。／山下惣一（作家）、山下一仁（農政アナリスト）、山下信アナ

第2夜「安心できる食卓とは」

中国製ギョーザ事件・偽装ウナギ・偽装牛肉・偽装鶏肉ととどまるところを知らない食品に対する不安。暮らしの一番の基本がなぜこんなに揺らいでいるのか？ より多く・安くを追求した結果、安心安全な食物を手に入れることができなくなった日本の消費者。明治時代から続く都内の豆腐店の1日をレポートし、昔ながらの日本の食品には、安心安全な食物を提供するための知恵とくふうが詰まっていることを示した。小手先の制度改革でなく、日本の伝統である対面販売と味の良さにこだわるのが今後の処方箋となることを示した。／河岸宏和（食品コンサルタント）、中村靖彦（東京農業大学客員教授）、山下信アナ

『新・話の泉セクション』

7.31, 9.25／20:05～21:30

立川談志の世の中を鋭く斬る深い洞察力と、歯にきぬ着せぬ独特の語り口、レギュラー解答陣の豊富な知識、ウィットと遊び心にあふれた味わい深いトークが人気の『新・話の泉』。聴取者のリ

クエストに応える形でセレクションを放送。／出演：立川談志，山藤章二，嵐山光三郎，毒蝮三太夫，松尾貴史，伊東四朗，桂文珍／司会：渡邊あゆみアナ

『夜はぶちぶちケータイ短歌～夏休み対決スペシャル』 8. 3/19:20～21:55

全国から12人が電話で生出演し，トーナメント方式で短歌を競った。勝敗は聴取者がケータイサイトとホームページから投票して決した。1回戦は「青空」，2回戦は「おぼけ」，準決勝は「折り句・蝉しぐれ」，決勝は「休む」がテーマ。総投稿数は401通。／出演：稲川淳二（俳優），穂村弘（歌人），東直子（歌人）／司会：だいたひかる（タレント），青井実アナ

『ヒバクシャからの手紙』

8. 5/23:20～ 2:00

07年度に引き続き2回目の放送。被爆から63年を迎え，被爆者の平均年齢は75歳を超える。広島局が国内外の被爆者に呼びかけ，手紙を募集したところ，切実な気持ちが綴られた400通が寄せられた。今回は広島市内に加えて長崎市内にもカメラを設置し，それらの中継映像に乗せてスタジオでの朗読で紹介した。ラジオ第1・総合テレビともに全中生放送，および国際放送のNHKワールドTV，NHKワールドプレミアム，ラジオ日本の3波で同時に生放送した。／出演：坪井直（広島県被団協理事長），井上ひさし（作家）／司会：周山制洋・杉浦圭子アナ

『平成20年 広島平和記念式典』

8. 6/ 8:00～ 8:55

08年，原爆症の認定基準が緩和され，4月以降新たに600人が認定された。しかし，新しい基準になっても原爆症と認められず，基準の適用を巡り国と争っている人もいる。被爆者の平均年齢が75歳を超え，一刻も早い解決が求められている現状を取り上げた。また，平和公園内にある「原爆の子の像」の前から中継で，像のモデルとされた禎子さんの同級生に建造のエピソードなどを伺った。／出演：森瀧春子（NGO・核廃絶をめざすヒロシマの会共同代表），川野登美子（中継）／司会：江藤泰彦アナ／中継：出田奈々アナ

『NHK広島放送局 開局80年ラジオドラマ“放送を続けよ！”～広島中央放送局の8月6日』

8. 6/20:15～21:25

昭和20年8月6日，広島中央放送局（現・NHK広島放送局）では，アナウンサーが空襲への警戒を呼びかける警戒警報を放送しようとした，正にその時，原爆が炸裂した。広島局の中だけでも

30人を超える死者が出て，多くの放送機材が破壊され，放送局としての機能は一瞬にして停止した。そんな壊滅状態の中で発せられたことばが“電波を出せ！放送を続けよ”であった。およそ25時間後，広島からの放送は再開された。戦時色が強まる中，広島の放送局員たちはどのような思いで放送を行い，8月6日を迎えたのか。そして生き残った放送局員たちは原爆投下後，何を見たのか…。当時の局員の体験記や資料を基に，原爆の悲劇を明らかにした。／脚本：高橋知伽江／出演：井村空美，青木初恵，藤井陽介ほか／広島局

『クイズスペシャル 北京オリンピック』

8. 7/20:10～21:29

北京オリンピックの関連特集。これまでのオリンピックや北京オリンピックに関するクイズをちりばめ，楽しみながら北京オリンピックへの知識や関心を高めた。／出演：安藤和津，森末慎二，田中雅美ほか／司会：内藤啓史アナ

『まもなく開幕！北京オリンピック』

8. 8/19:30～20:55

北京オリンピックは日本時間の8月8日21時に開幕したが，その直前に放送した特集。四川大地震，聖火リレーの混乱，食の安全など，さまざまな困難を抱えた中国は，どうやってオリンピックを迎えようとしているのか。谷亮子，北島康介，野口みずきなど日本期待の選手の状態は。そして，間近に迫った開会式はどんなものになるのか。スタジオにゲストを迎え，北京からの中継なども挟みながら伝えた。／出演：小林信也（スポーツライター），河西昌枝（東京五輪女子バレーボール・チームキャプテン，金メダリスト）／司会：西田善夫（スポーツアナリスト），中島裕子（あさいちばんキャスター）

『平成20年 長崎平和祈念式典』

8. 9/10:55～11:29

原爆症認定をめぐる全国各地の裁判で原告である被爆者の勝訴が続き，厚生労働省の新しい基準が設けられるなどの動きが注目された08年の長崎平和祈念式典。会場の実況描写を中心に，参列した被爆者の談話を交え臨場感のある式典中継を行った。／中継：比留木剛史アナ／長崎局

『音楽熱中倶楽部 サマースペシャル』

8.11/20:30～21:55

夏特集。弘兼，北原両マスターとともにライブを楽しんだ。今回は，谷村新司，鈴木康博，山本潤子が競演。これまでにない組み合わせもあり，スペシャルなライブとなった。若手ギタリスト・谷本光の演奏も楽しめた。／出演：谷村新司，鈴

木博康，山本潤子，谷本光（ギター），夏秋嘉也（ピアノ）／マスター：弘兼憲史，北原照久
『ザ・ケーシーSHOW 真夏編／新春編』

8.24， 1. 4／19:20～20:55

多彩な才能を持つ漫談家・ケーシー高峰のワンマンバラエティーショー。「NHKみんなの広場ふれあいホール」での公開放送。ピアノカルテットのおしゃれな音楽とトーク，コントに漫談など楽しさいっぱいの特集となった。／出演：ケーシー高峰，田辺靖雄，九重佑三子，大空遊平・かほり，小泉雄三カルテット，林隆三，伊藤咲子，チャーリーカンパニー

『大規模地震からの教訓 復興への課題と今後の防災に向けて』

8.31／10:05～11:50

5月には中国・四川大地震，6月には岩手・宮城内陸地震が発生した。2つの大規模地震の現状と復興への課題，さらに今後の防災に向け何が教訓となるのかを考えた。岩手・宮城内陸地震の発生直後と1か月後，被災地で取材を行い，被災のメカニズムを解き明かすとともに，仙台・盛岡局のアナウンサーによるレポートで生活再建への課題を伝えた。四川大地震関連では中国国際放送局記者による被災地の現状レポートと，被災地入りして復興に携わった日本人関係者がスタジオに生出演し，日本が出来る国際貢献とは何かという視点で語った。放送当日は代々木公園の災害訓練会場からの中継も織り交ぜ，多角的な放送を行った。／出演：伊藤和明（防災情報機構会長），池谷浩（財団法人砂防地滑り技術センター理事長），粉川直樹（日本赤十字社事業局国際参事），吉楽隆男（東京消防庁第六消防方面本部）／司会：鹿野睦アナ

『大規模地震にいかに備えるか』

9. 1／10:05～11:50

前日放送した『大規模地震からの教訓 復興への課題と今後の防災に向けて』を受け，「建物の外と中の耐震化」「緊急地震速報をどう生かす」の2つの視点から防災を考えた。費用を抑えた建物の耐震化や自治体の助成制度，さらに室内用防災シェルターなど新しい耐震化を紹介。緊急地震速報については岩手・宮城内陸地震で活用された事例を基に，どう生かすか，どこで聞けるかなど細かな情報に触れた。当日，渋谷区が行った防災訓練会場からの中継も随時織り交ぜた。また，07年と同様，NHKと首都圏の民放ラジオ局が共同で制作した「ラジオ災害情報交差点」を8分間放送。大阪放送局と関西民放ラジオ局が共同で制作した「大地震から身を守る 関西最前線」も23分

間放送した。／出演：伊藤和明（防災情報機構会長），木村拓郎（社会安全研究所所長），中森広道（日本大学教授）／司会：鹿野睦アナ

『つなごう！いのちのリレー～がん患者支援イベント リレー・フォー・ライフ』

9.15／9:05～11:50

9月のがん征圧月間に行われたイベント「リレー・フォー・ライフ」の会場（日産フィールド小机）から“がんになっても希望を持って生きられる社会”を目指し，がん患者・家族・支援者・市民らがさまざまな活動をする様子を生中継で伝えた。／出演：岸本葉子（エッセイスト），三浦秀昭（リレー・フォー・ライフ横浜実行委員長）／司会：里匠・滝島雅子アナ

『人生が楽しくなる教室』

9.15／14:05～15:55

21世紀，日本は世界のどの国もこれまで経験したことのない高齢社会を迎えている。超高齢化社会で，私たちは前向きに明るく過ごすことはできるのか。スタジオに生徒役と，先生役の専門家を招き，生徒役は日ごろ感じている不安や疑問などを，随時，先生役に尋ねた。専門家には，それぞれの分野の最新情報を伝えてもらうとともに，高齢化時代を生き抜くための考え方を教えてもらい，高齢大国日本で明るく楽しく人生を送るためのヒント満載の2時間となった。／ゲスト：山本晋也（映画監督），森下典子（エッセイスト），和田秀樹（精神科医），大田仁史（茨城県立健康プラザ施設長）／司会：山本哲也アナ

『今よみがえる黒澤映画』

9.15／22:05～23:00

88歳の生涯で30作品を残した黒澤明監督の没後10年を迎え，4月から全作品を放送した衛星放送には，多くの視聴者から反響の便りが届いた。その一部を朗読しながら黒澤作品の魅力に迫った。番組では世界のクロサワとして多くの映画人に影響を与え，一貫してテーマとして描いた師弟愛・正義感・反戦平和などを作品の中から読み解き，今も色あせない黒澤作品の魅力を伝えた。／解説：渡辺俊雄（衛星映画劇場支配人）／司会：柴田祐規子アナ／お便り朗読：迎康子アナ

『ラジオなぞかけ問答スペシャル』

9.23／14:05～15:55

「○○とかけて△△と解く。その心は…」という，おなじみの言葉遊び。『つながるラジオ』では，午後2時台，進行役の2人がトークを繰り広げながら，応募作品を紹介してきた。現代というIT社会に暮らしていながら，言葉を頭に巡らせ

て脳をトレーニングする、この「なぞかけ問答」は老若男女を問わず、楽しめる頭の体操。平日の昼間に『つながるラジオ』を聞けない人たちにも、祝日の昼間に特番を編成し、なぞかけ問答の楽しみを味わってもらい、新たなリスナーの開拓を図った。また、4か月に1回しか出演できない師範も全員出演、なぞかけ問答の楽しみ方を指南してもらい、その魅力を探った。／ゲスト師範：天野祐吉（コラムニスト）、古今亭志ん輔（落語家）、神田紅（講談師）、泉麻人（コラムニスト）／進行：柿沼郭アナ、石山智恵

『日中対話2008～日中若者対話』

9.23/22:15～23:00

東京のNHKラジオセンタースタジオと北京の中国国際放送局のスタジオを結び、双方のスタジオに大学生を招いての対話番組。東京スタジオには東京大学と北京大学の学生討論フォーラム「京論壇」の東大学生、北京のスタジオには北京大学生を招き、食の問題を糸口にお互いの国の意見の違いと、そこから相互理解をどう生み出すかを考えた。番組内では日中の高校生交流レポートも放送。長年日中交流に携わった日本側と中国側のゲストが、時間をかけて本音で話し合うことの大切さを強調した。／出演：西原春夫（NPO法人アジア平和貢献センター理事長）、高洪（中国社会科学院日本研究所研究員）／司会：濱中博久アナ
『地球ラジオ・イン・ブサン』

10. 4～ 5/16:05～18:50

海外からの公開放送4回目は、韓国ブサン市の釜山日本人学校講堂で実施。韓国学生の日本語でのポップス歌唱、日本人学校の子どもの作文の朗読や学校紹介、また韓国屈指の古刹や国際映画祭会場からの中継レポートなどで構成。会場には延べで2日間に100人を超える観客が訪れ、中には福岡から船でやって来た人もいた。／司会：後藤繁榮アナ、大輪香菊

『ラジオデー “いのちを考える” ～聴いて、伝えたい、この大切なもの』

10.13/ 8:30～ 8:55, 9:05～11:50,

14:05～17:55, 21:15～22:55

ラジオセンターではこの日、「命」をキーワードにした番組を集中編成し、リスナーとともに命の大切さを考える1日とした。

第1部「宣言“命”を語る日」／おなじみの公開生放送。医師の鎌田實さんをホスト役に、ゲストやリスナーとともに「いのち」を考えた。会場の札幌市・道新ホール来場者は会場インタビューで、リスナーはメールやファックスで対話に参加。

この日は「笑いの処方箋」をテーマに開催。／ゲスト：大村昆（喜劇俳優）、中島英雄（中央群馬脳神経外科病院理事長・落語家）／番組ホスト役：鎌田實（諏訪中央病院名誉院長）／司会：村上信夫アナ

第2部「たったひとつの命だから・命をつなぐメッセージ」／「たったひとつの命だから」に続く言葉を市民から募集して静かなブームを巻き起こした、福岡の主婦グループ「ワンライフ・プロジェクト」と、作家の落合恵子さん、ノンフィクション作家の柳田邦男さん、歌手の森口博子さんをスタジオに招き、リスナーと結びながら命の意味について考えた3時間。寄せられたメッセージは200通に及んだ。／ゲスト：柳田邦男（ノンフィクション作家）、落合恵子（作家）、森口博子（歌手）／司会：柴田祐規子アナ

第3部「脅されず 踊らされず 踊る～秋野豊さんが遺したメッセージ」／10年前、国連監視団の一員としてタジキスタンに派遣され、命を落とした国際政治学者の秋野豊さん。“行動する学者”として知られる一方、教え子たちにも多大な影響を与えた。スタジオには秋野さんの影響を受けた同僚や教え子たちを招き、秋野さんが遺した語録のひとつ、「脅されず 踊らされず 踊る」をキーワードに、秋野さんが伝えたかった“前向きに生きる”メッセージについて考えた。／出演：綾部優子（城西国際大学教授）、遠藤久美子（俳優）、阿部恒憲（音楽家）／司会：鹿野睦アナ

『上方演芸会60年記念スペシャル』

11. 2/15:05～16:53

『上方演芸会』は08年9月で放送開始から60年を迎え、特集番組をNHK大阪放送局のT-2スタジオから生放送。番組ゆかりの漫才師が出演、昔懐かしい漫才を披露したり、全国での公開収録番組ならではのエピソードや「新作主義」などについて、トークを展開した。また、60年を記念して、ラジオコメディ「ある日の上方演芸会」を、漫才ゲストたちで演じた。／出演：横山ホットブラザーズ、正司敏江・玲児、Wヤング、酒井くにお・とおる、海原はるか・かなた、ランディーズ／インタビューのみの出演：喜味こいし、宮川大助・花子、織田正吉／司会：井上善夫、堀あかり／大阪局

『聞かナ！しゃべらナ！！関西“音”カルチャー』

11. 3/13:05～16:53

関西とかかわりの深い演歌・浪曲・文楽の世界で活躍する人々を招いて、さまざまな“音”を通して見えてくる関西人の魅力・関西文化の奥深さ

に迫った。NHK大阪放送局T-2スタジオから、公開生放送。／ゲスト：もず唱平（作詞家）、中村美律子（演歌歌手）、芦川淳平（浪曲評論家）、春野恵子（浪曲師）、一風亭初月（浪曲・三味線）、豊竹英大夫（文楽・太夫）、鶴澤清友（文楽・三味線）／司会：田丸麻紀（女優）、秋鹿真人アナ／大阪局

『新たな雅を求めて・東儀秀樹～“旅の達人”スペシャル』

11. 3/17:05～17:55

奈良時代から千三百年にわたり雅楽を世襲してきた東儀家出身の東儀秀樹さん。仕事でもプライベートでも国内外多くの場所を旅している。旅に出るときはどこに行くにも「笙・箏・篳篥・竈笛」を必ずバックに入れて持ち歩き、イメージが湧くところで演奏する。その旅先での思いがけない出会いや楽しいハプニングについてじっくり何うとともに、旅先で買った民族楽器は数百にもなり、その国の個性を反映している民族楽器に出会うのが楽しみという東儀さんに、各国の伝統楽器についても聞いた。

『シャンソン、この限りなく深き世界よ』

11. 3/22:15～23:00

夜10時台の祝日特集。日仏交流150年を機に、シャンソンの魅力を探った。日本シャンソン界の重鎮、芦野宏さんと美川憲一さんにそれぞれシャンソンを歌ってもらい、その魅力を語ってもらった。／出演：芦野宏、美川憲一／司会：三橋大樹アナ

『97歳 生涯現役～働くことは生きること』

11.22/22:15～22:55

97歳で現役人生を貫く、聖路加国際病院理事長の日野原重明さん、3級ホームヘルパーの山崎武雄さんを迎え、「情熱を燃やせることを見つける」など、はつらつと働く秘けつについて聞いた。番組は好評で、文研の視聴率調査でもこの時間帯の聴取率が上昇した。／司会：岩槻里子アナ

『ラジオ祝日特集～晩秋の中国路 朗読さんぽ』

11.23/13:05～15:28

広島県にある世界遺産・厳島神社をキーステーションに、中国地方の秋の風情を中国地方ゆかりの文学作品の朗読と中継やリポートで伝えた。／出演：原田大二郎（俳優）、川上麻衣子（女優）、船附洋子（宮島観光協会）／司会：武藤友樹アナ／中継・リポート・朗読：（広島）江藤泰彦アナ、（岡山）佐々木智一・北村紀一郎アナ、（松江）岡隆一・昼間敬仁アナ、（鳥取）堀井洋一アナ（山口）柴田拓アナ

『浜マガZ～あきらめないぜ！スペシャル』

11.23/19:20～21:55

09年度の「若い人向けの新番組」を目指すパイロット版。キャンパス情報や就活情報、生協の白石さんによる悩み相談、青山テルマやSEAMOへのインタビューなどで構成した。また、それぞれのコーナーが「おもしろかったかどうか」についてインターネット投票を行い、番組内で結果を紹介した。／ゲスト：安齋肇（イラストレーター）、椿姫彩葉（モデル）、上田晶美（キャリアコンサルタント）、白石昌則（大学生協職員）／司会：小松宏司アナ

『園芸 秋の電話相談』

11.24/14:05～16:53

11月は、冬を前にして庭木や草花の冬越しの準備をする時期であり、クリスマスまであとひと月となり、年末年始を彩る植物が出回り始めるころでもある。番組では、ラジオの双方向性を生かし、園芸の専門家が、園芸愛好家からの疑問、質問に電話で答えるとともに、自分でも園芸を楽しんでいる方をゲストに迎え、園芸や草花の魅力などを語ってもらった。／回答者：船越亮二・長岡求（園芸研究家）／ゲスト：山村レイ子（俳優）

『私の本棚スペシャル』

11.24/22:15～23:00

『私の本棚』は新番組の編成に伴い07年度限りで休止となったが、朗読番組を望むリスナーの声に応え、45分の特集として放送。／作品：小路幸也作「うたうひと」より“クラプトンの涙”／朗読：加藤健一（俳優）、加藤忍（俳優）

『今夜も大入り！熊本 宇土市・極楽亭』

11.29/19:30～20:55

『今夜も大入り！渋谷・極楽亭』を地域の公開イベントとして展開。極楽亭の専属落語家のうち、林家彦いち、林家木久蔵の落語を聞きながら、地域のネタを題材にしたクイズなど生きのいいトークを楽しんでもらった。熊本県宇土市の宇土市民会館で11月19日に収録。／出演：林家彦いち、林家木久蔵／司会：森口博子、三橋大樹アナ

『きらり10代！～今年の1曲！リクエスト特集』

12.21/19:20～21:55

旬のゲストを招いて、スペシャルトークをメインに、リクエスト曲を紹介。そして、リスナーの投票で「今年の1曲」を決定した。また、大学生リポーターによる、クリスマスの街角からの中継を都内2か所から実施した。／出演：いきものがかり・清水翔太（歌手）／司会：浜口順子（タレント）、高山哲哉アナ

『今夜はテレビでケータイ短歌』

R1・G 12.22／0:10～2:30

テレビとラジオの同時放送としては、初めて総合テレビに進出。ケータイ短歌の初心者にも楽しめるよう、「短歌の魅力」「楽しみ方」などをわかりやすく紹介。募集テーマは、「冬」、「恋」、付け句「とびきり寒いこんな夜には」の3つ。深夜にもかかわらず、合計1万3,953首が寄せられた。／ゲスト：はなわ（お笑いタレント）、八田亜矢子（タレント）、穂村弘（歌人）、東直子（歌人）／司会：だいたひかる（お笑いタレント）、青井実アナ

『私も一言！夕方ニュース 年末スペシャル』

12.22～26／17:00～18:50

08年度の新番組『私も一言！夕方ニュース』の定時枠内で、年末の1週間、聴取者からのお便りやメールを基に、08年を振り返るスペシャルバージョン。「地域から一言」「ここに注目」など通常のコーナーで、一度取り上げた話題のその後の様子をリポートしたり、福祉・医療など注目の集まったテーマでこの1年をたどるなど、双方向性を生かしながら、激動の1年を総括した。／出演：五十嵐公利（ジャーナリスト）ほか／司会：伊藤博英アナ、有江活子キャスター

『アキラさんの音楽ドレミ塾～音楽はタイムカプセルだ！』

12.23／10:05～11:50

「音楽はタイムカプセルだ！」をテーマに、童謡・唱歌を中心に時代を越えて伝わる歌を、宮川彬良さんの楽しいトークと演奏で「NHKみんなの広場ふれあいホール」から公開生放送。／出演：宮川彬良（作曲家）、岡崎裕美（歌手）、ことのみ児童合唱団／司会：村上信夫アナ

『ふるさと発くらしこの1年』

12.23～26／13:05～13:55, 15:05～16:53

1年の日本各地の暮らしを「ふるさと」の視点から振り返った。午後の時間枠の年末特集として、NHKのネットワークを生かしながら長年継続しているおなじみの番組。北海道から九州・沖縄までの8ブロックを1日2ブロック、各管轄局をキーステーションに、4日間にわたって放送した。局数の多い関東・甲信越、東海・北陸、関西、九州・沖縄は1時間40分、北海道、東北、中国、四国は50分枠で放送。

『年忘れ 夢の紅白歌合戦』

12.23／19:20～22:55

過去から現在まで紅白を彩ったスターの歌声を網羅し、歌合戦形式で対決させた。その時々のエピソードにも触れながら、日本の歌謡文化の厚み

を確認した。／出演：三沢あけみ／司会：水前寺清子、岩崎博アナ

『歌の散歩道 歳末スペシャル』

12.24～26／14:05～14:55

『歌の散歩道』の枠を拡大。紅白出場歌手の登場もあり、スタジオパークでの乗場者サービスにもつながった。／出演：北原ミレイ、高山巖、マルシア、坂本冬美、伍代夏子、藤あや子、ジェロ、秋元順子、水森かおり、北山たけし

『なんたって石原裕次郎リクエスト特集』

12.28／12:15～16:53

石原裕次郎の誕生日にあわせた特集企画。レコーディングした599曲の中からリクエストに応じて裕次郎の歌声を楽しんだ。途中、裕次郎の語りを盛り込んだ音源もあり、ファンにとってはたまらない内容となった。／出演：高柳六郎（音楽プロデューサー）、後藤武久（テイチクレコード制作宣伝本部長）／司会：岩崎博アナ

『年末スペシャル！～ラジオビタミン&つながるラジオ』

12.29／8:30～11:50

12.30～31／8:30～16:55

29日は天皇杯サッカー中継のため午前だけとなったが、午前の『ラジオビタミン』と午後の『つながるラジオ』が連携して、お便りテーマを共通にし、東京都内や全国各地からの中継と結びながら、ゲストを交えて年の瀬の表情や次の年への期待などを伝えた。全国の交通情報センターを結んでの交通情報もきめ細かく伝えた。／出演：パイヤ鈴木（タレント）、吉田栄作（俳優）、古今亭志ん輔（落語家）、神田紅（講師）、林家いっ平（落語家）、松坂慶子（俳優）、泉麻人（コラムニスト）、ジェロ（歌手）、水森かおり（歌手）、立松和平（作家）／午前司会：村上信夫アナ、神崎ゆう子／午後司会：柿沼郭アナ、石山智恵

『ここはふるさと旅するラジオ この1年』

12.29～30／12:15～13:00

12.31／12:15～12:45

小さなステージ付きのラジオイベントカー「80ちゃん号」が、全国の市町村を巡る旅も4周目。08年度も、47都道府県をすべて訪ね、ふるさとの「やる気・元気・本気」を伝えた。その総集編を、3日間にわたって放送、楽しかった放送を録音で振り返ったり、ふるさとのその後の様子を電話で伺った。29、30日はFMでも同時放送。／出演：いとうまい子（女優）、立川談四楼（落語家）、杉浦友紀アナ（福井）、森花子アナ（甲府）、／司会：森下和哉アナ

『ヒット曲2008』

12.29/17:38~18:50

08年の音楽シーンのトレンドを振り返る音楽番組。CD売り上げベスト10, 08年の流行(アラフォー)音楽の紹介, また, 紅白出場歌手をスタジオに招いて紅白に賭ける意気込みを聞き, 09年の音楽シーンも占った。これまでのラジオ第1にはなかったスタイルの番組だけに, メールやFAXなどで多くの反響があった。/ゲスト: 前川清, 秋元順子, 小池恒(オリコン社長)/司会: さとう珠緒, 小松宏司アナ

『スポーツ2008 新たな時代』

12.29/19:20~21:55

北京五輪が開催された08年のスポーツ界を, インタビューとゲストの辛口の解説で振り返った。プロゴルフ界の新星・石川遼選手, 大相撲の大塚汚染などの不祥事, 北京五輪で不調に終わった日本のマラソン復活への課題。フェアプレーに徹したことで銅メダルを他の選手より遅れて獲得した室伏選手の偉大さなどを, スポーツに関心がない人にもわかりやすく楽しく伝えた。ゴルフの石川選手の活躍が不況のゴルフ業界の浮沈を担うなど, 選手の活躍が経済にも関係するというスポーツの持つ社会性などにも触れ, スポーツとはどうあるべきかをジャーナリズムとしての視点で伝えた。/出演: 増田明美(スポーツジャーナリスト), 二宮清純(評論家), セルジオ越後(サッカー解説者), ヨネスケ(タレント)/司会: 西田善夫(スポーツアナリスト)

『日中対話2008~流行語・新語で振り返るこの1年』

12.29/22:05~23:00

四川大地震・中国製ギョーザ事件・北京五輪開催と日本でも話題に上ることの多かった中国と日本のこの1年を, 新語・流行語で振り返り, 日中の文化の違いや共通点などを探り合った。CRI(中国国際放送局)との共同制作。/出演: 清水義範(作家), 加藤未央(タレント)/司会: 千野秀和アナ

『思い出の昭和歌謡』

12.30~31/17:05~18:50

年末の慌ただしいひととき, 2夜にわたって「昭和歌謡」をじっくりと紹介し, あらためて昭和の歌謡曲の底力を伝えた。第1夜は, 歌謡界第一線で活躍し続ける五木ひろしさんがゲスト。デビューから今日までの足跡を振り返りながら, その時々影響を受けた昭和の歌謡曲を紹介した。特に, 自身が不遇時代の思いを忌憚なく語ったことはこれまでほとんどなく, 反響も大きかった。

第2夜は, 俳優の小沢昭一さんと音楽文化研究家の長田暁二さんを迎え, 懐かしい昭和の歌謡曲を2人の思い出とともに綴った。選曲は小沢さん, 歌の解説は長田さんという役割分担のもと, 昭和歌謡の魅力をじっくり紹介した。/司会: 島田政男アナ

『怒った!泣いた!喜んだ!!~ニュース

2008』

12.30/19:20~23:00

08年の政治, 経済, 国際情勢, 事件や社会情勢を振り返り, きたる09年への課題を考えたニュースハイライト。明るいニュースの少なかった08年であったが, 日本人3人が受賞したノーベル賞のニュースや, 殺伐とした世の中にありながらも, 心と心が触れあった話題を伝える「ハートトゥハート」のコーナーなどを織り交ぜ, この1年間を振り返った。/出演: 天野祐吉(コラムニスト), 森公美子(歌手), 高木勝(明治大学教授)/司会: 末田正雄アナ, 中野由貴

『年越しラジオ ふるさとは, いま』

12.31/23:45~ 0:45

『ゆく年くる年』の装いを新たにした07年に続き, さらに趣向を新しくした。従来の寺・神社からの中継に加え, より地域色を全面に打ち出した。また, 従来より中継時間を1割ほど減らし, その分スタジオ・トークにあて, 聴取者にゆったりと新年を迎えてもらう構成とした。テーマは「安心」。金融, 食, 老後, 治安への不安など, 大いに揺れた08年を, 地域の人たちはどのように乗り越え, 新年を迎えようとしているのか。中継は7か所。新年は, 開港50年・横浜の, 船の汽笛で迎えた。/出演: 嵐山光三郎(作家), 西村由紀江(ピアニスト)/司会: 濱中博久アナ

『おめでとう あさいちばん』

1. 1/ 5:05~ 8:55

通常の『ラジオあさいちばん』を延長して午前8時55分まで放送。経済評論家の内橋克人さんや慶応大学教授・金子勝さん, 東京大学教授の西成活裕さんらの出演・インタビューで, 09年を展望した。また, 将来を担う子どもたちにも今年の抱負を聞いた。/スタジオ生出演: 西成活裕(東京大学教授), 山本一哉(愛育病院皮膚科部長)

『おめでとう日本列島2009~新しいスタートラインへ』

1. 1/ 9:05~13:45

09年を少しでも明るい年にしようとして活発に元日を過ごす人々の姿と, 各地の正月の風景を各局からの中継と電話インタビューで紹介した。金融不安などの中での年明けだが, 地域・人と人の絆を深めながら, 新しいスタートラインから歩き始め

ようというメッセージを伝えた。／中継：（釧路局）「牧場での正月に夢を乗せて」、（福島局）「海の神社に祈る漁の安全」、（名古屋局）「風情たっぷり、屋形船で熱田参り」、（岡山局）「三味線餅つきでつながる地域の輪」、（徳島局）「まわす門には福来る～三番叟まわし」、（熊本局）「港町に響く町の思い」、（東京）「移動中継～東京駅、秋葉原、西日暮里、巣鴨、目黒」／電話：「75歳女性・乳牛を育てて半世紀」（北海道雄武町）、「オバマを勝手に応援する会」（福井県小浜市）、「12年に1度の神事・ホーランエンヤ花形親子」（島根県松江市）、「生誕100年・松本清張記念館」（福岡県北九州市）、「今世紀最長の皆既日食を迎える島」（鹿児島県十島村）／出演：馬場俊英（シンガーソングライター）、安めぐみ（タレント）／司会：中江有里（女優・脚本家）、山本哲也アナ
『おめでとう地球ラジオ 2009』

1. 1/16:42～18:50

新年を迎えたばかりの世界各地を電話で結び、放送時間を拡大しおよそ3時間にわたって放送。前日の紅白歌合戦にも出演したゲストのトーク、海外11か所との生電話などで構成。千支にちなんだ「牛」や「わたしの国に来てください」についてのリスナーからのお便りは、新しい顔ぶれを含めおよそ190通に達した。／出演：マーティ・フリードマン（ギタリスト・アメリカ出身）／司会：後藤繁榮アナ、大輪香菊

『2009 ラジオ巻頭言 もう一つの日本』

1. 1/19:20～21:28

新たな年の始まりにあたり、新たな羅針盤を必要としている日本の針路を、さまざまな分野の識者の言葉に耳を傾けながら占う骨太の巻頭言。08年4月に始まった『私も一言！夕方ニュース』の伊藤・有江両キャスターの進行で、この番組のご意見番である五十嵐公利と気鋭の学者・内田樹が、経済学者・宇沢弘文、物理学者で08年のノーベル賞受賞者・益川敏英らのインタビューを読み解きながら話を深めた。／出演：五十嵐公利（ジャーナリスト）、内田樹（フランス思想研究者）ほか／司会：伊藤博英アナ、有江活子キャスター
『日本のカルテ～希望の国への処方箋』

1. 1～ 3/21:30～22:55

第1夜「金融危機～地方はどう乗り越えるか」

アメリカに端を発した世界的な金融危機が日本経済を揺るがした08年。番組では、地域の産業で何が起きているのか具体的な事例を紹介し、未曾有の危機を脱するにはどうしたらいいのかを識者とともに探った。／出演：金子勝（慶応義塾大学

教授）、黒瀬直宏（専修大学教授）／司会：山下信アナ

第2夜「揺れる雇用 働き方」

金融危機で派遣切りなど特に非正規雇用の不安定さが急速に悪化した中、雇用の現状と問題点を提示し、解決策を探った。企業の雇用調整の問題点と、それが今後どのような影響を及ぼすか、レポートを基にゲストがそれぞれの立場から具体例を交えてわかりやすく解説した。働き方を今後どう変えていくかについては、神戸と松江の例を紹介、ワークライフバランスの視点から解決への糸口を導き出した。／出演：森岡孝二（関西大学経済学部教授）、鴨桃代（全国ユニオン会長）、渥美由喜（富士通総研経済研究所主任研究員）／司会：山下信アナ

第3夜「日本の国際貢献とは？」

09年は「国際和解年」。恒久的平和に必要な、和解プロセス発展の追求を目的とするこの年を迎えるにあたり、日本が果たすべき役割を検証した。番組では、国家レベル、企業レベル、個人レベルと、それぞれの方法論で実践されている具体的な国際貢献の例を段階的に紹介しながら、世界的な閉塞感の中で内向きになりがちな今日だからこそ求められる「他者への意識」の重要性を論じた。／出演：アグネス・チャン（歌手）、最上敏樹（国際基督教大学教授）／司会：山下信アナ

『わが人生に乾杯！新春スペシャル』

1. 2/14:20～16:55

『わが人生に乾杯！』の年始特集。スタジオパークにメインゲスト・浪曲の国本武春さんをはじめ、演芸人が集まり、お正月らしい華やかな内容で楽しんだ。／出演：国本武春、ノブ&フッキー、中島マリ／司会：山本晋也、岡元あつこ、出光ケイ

『新春おめでた芸文』

1. 2～ 3/17:05～18:50, 19:20～21:28

お題を直前に出して生放送の中で句を寄せていただき、ゲストとともに楽しく選句する双方向番組。投句は俳句、おりこみどどいつ、短歌、川柳あわせておよそ2,000通と根強い人気があり、お正月番組として定着している。また、作者にスタジオから直接電話をする「おめでたビックリ電話」も大いに喜ばれ、全国の正月風景を垣間見ることができた。／1.2（俳句）鈴木章和、富士真奈美（女優）、（おりこみどどいつ）中道風迅洞、木村晋介（弁護士）、筏丸けいこ（詩人）、柳家みどり（俗曲師）／1.3（短歌）篠弘、太田治子（作家）、（川柳）大木俊秀、安藤波瑠、林家きく

姫（落語家）／司会：鎌田正幸アナ，坪郷佳英子
『新春大入り！渋谷・極楽亭』

1. 3/14:20～16:55

『今夜も大入り！渋谷・極楽亭』の正月特集。スタジオパークに番組専属落語家の面々が集合。落語とさまざまなお遊びで盛り上がった。森口博子さんの歌もあり，スペシャル感ある内容。／出演：立川志らく，柳家喬太郎，林家彦いち，林家木久蔵／司会：森口博子，三橋大樹アナ

『歌の日曜散歩新春スペシャル』

1. 4/ 9:05～10:00

1月4日，『歌の日曜散歩』を新春スペシャルとして枠を広げて放送。リスナーと電話で結び，各家庭の正月の様子や地方独特の正月風景を伺うなど，いつも以上に双方向性を持たせた。当日は10時から総理年頭記者会見が25分程度入り，その後番組に戻る予定だったが，ニューギニアで起きた地震により津波注意報が出たため，10時11分から津波注意報関連のニュースに切り替わり，そのまま11時50分まで続き，『歌の日曜散歩』に戻ることはなかった。／司会：鎌田正幸アナ，坪郷佳英子

『被災マンションの14年』

1.10/22:15～22:55

阪神・淡路大震災から14年になるのにあわせ，神戸局から放送したラジオ特集の1回目。震災で建て替えが必要になったマンションのうち最後の1棟の建て替えが08年によく始まった。14年近くかかった背景には，法律の未整備な部分や住民間の意志統一の難しさがあつた。その問題点を丹念に追いながら，東京のニュータウンの老朽マンション問題も取材，震災にかかわらず集合住宅の老朽化による建て替え問題を，全国の聴取者共通の問題として提示した。震災というと負の部分が多いが，これをきっかけに改善された制度があることを伝えた。／出演：大西一嘉（神戸大学大学院准教授）／構成・司会：今城和久アナ／神戸局

『村上春樹の音楽をめぐる冒険』

1.12/14:05～15:55

世界的に評価されている作家・村上春樹。そのデビュー30年を機に，作品中に登場し，大きな役割を果たす音楽に着目し，「音楽とともに味わう朗読」番組を放送。5人のアナウンサーが作品を朗読し，関連する曲をしっかりと楽しんでもらう演出。村上作品における音楽が持つ意味について，識者の意見を交えて分析し，より深い魅力を伝えた。／インタビュー：内田樹（神戸女学院大学教

授），黒沢薫（歌手・ゴスペラーズ）／ゲスト：中江有里（女優・脚本家），小西慶太（ライター）／司会：里匠アナ／アナウンス室

『成人の日特集 日中韓 若い力で環境交流』

1.12/22:15～23:00

アジアをリードする日本・中国・韓国の若者たちが「環境」というテーマで交流と活動を行っている。番組では東京大学と北京大学の学生で作っている討論グループ「京論壇」の相互交流と，長崎県対馬で日韓のごみ問題に取り組む「日韓学生つしま会議」の活動を軸に，日本・中国・韓国の若者が東アジアの環境の将来像をどう描き，具体的に何から始めていくかについて，未来志向で活発な議論を行った。／ゲスト：姜尚中（東京大学大学院教授），中谷絵里（「京論壇」副代表），甲斐穂高（日韓学生つしま会議代表）ほか／司会：高山哲哉アナ

『阪神・淡路大震災14年ラジオ特集～生活の中に“防災”を取り入れよう』

1.17/ 8:35～ 9:55

阪神・淡路大震災から14年が経つが，家庭や地域での日常的な防災対策は必ずしも十分ではない。そこで生活の中に自然に取り入れることのできる防災について考えた。防災博士と呼ばれる主婦たちの取り組みやゲームで防災を学ぶ方法，マンションで防災に取り組みせるくふうや子どもたちが町歩きで防災を学ぶ活動などをレポート。8時台後半には毎年放送している民放局とNHK，電気ガス水道などのライフライン各社を結んで，大地震が襲った場合に備えて生活情報を伝える『災害情報交差点』も実施した。／出演：渥美公秀（大阪大学コミュニケーションデザインセンター准教授）／司会：石嶺誠一郎アナ／レポート：中村淳平アナ／大阪局

『ラジオ特集 子どもに震災をどう伝えていくか』

1.17/22:15～22:55

阪神・淡路大震災から14年になるのにあわせて神戸局から放送したラジオ特集の2回目。今後30年の間に起きる可能性が5割を超えているといわれる東海・東南海・南海地震という国難に備えて，その時防災の担い手になる今の子どもたちに震災の教訓を伝えることが重要である。現に兵庫県では，震災を知らない子どもたちに教訓を伝え防災意識を高める取り組みが各地で始まっている。そのうち4つの活動現場を伝えた。／出演：林春男（京都大学防災研究所教授）／構成・司会：下境秀幸アナ／神戸局

『渋谷アニメランド～今夜は学園天国』

1.25／20:05～21:55

学園を舞台にしたアニメ「らき☆すた」「かくえんゆーとびあ まなびストレート!」「桜蘭高校ホスト部」「涼宮ハルヒの憂鬱」を取り上げ、その魅力を語り合うと同時に、作品に使用されている楽曲を楽しんだ。番組に寄せられたメールの数は過去最高で384通、ホームページへのアクセス数も2万7,000ページビューで、これまでの「渋谷アニメランド」の最高値を更新した。メールの送信者は10代、20代がおおよそ9割を占め、若年層に強みを発揮した。／ゲスト：サンキュータツオ（漫才師）、白石稔（声優）、野中藍（声優）
／司会：藤崎弘士アナ

『特集 雇用問題～いま国は、地域は何かができるのか』

1.31／22:10～22:55

百年に一度と言われる金融不安に端を発した雇用危機。出口の見えない中、国や地域に何かができるのかという視点で、最新の雇用対策の実情と雇用創出のための方向性を探った。NHKのネットワークを使い、地方局のリポートも交えながら伝えた。／出演：後藤千恵解説委員／司会：伊藤博英アナ

『ラジオ特集 雇用不安時代～あなたはどう生き抜きますか』

2.11／14:05～16:53

新たな試みとして、総合テレビと連携、雇用をテーマにした『日本の、これから』に寄せられた約2,600通のFAXやメールを引き継ぎ、番組内でも生かす形となった。テレビで紹介できなかったメールを紹介するだけでなく、内容の充実していた何人かと事前にコンタクトを取り、最終的に3人に電話でインタビューするなど、テレビに寄せられた声をラジオで有効に生かすことができた。番組では主に、「現状をどう捉えるか」「雇用のミスマッチ」「職を失った場合のセーフティ・ネット」について伝えた。また、番組全体を通してFAX、メール、留守電などで聴取者の声を取り入れ、双方向で伝えた。／出演：神野直彦（東京大学教授）、根岸栄子（東京キャリアアップハローワーク室長）、宇都宮健児（弁護士）、後藤千恵解説委員、三宅民夫アナ／司会：伊藤博英アナ、遠田恵子

『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』

2.11／22:15～22:55

東京や大阪にはない名古屋独特の文化や魅力について、地元ゆかりのゲストといっしょに語ろうという09年度定時番組のパイロット版。名古屋局の田中洋行アナがウェイト姿で参加した。手羽

先のから揚げやあんかけスパゲッティーなど、全国に知られたいわゆる「名古屋メシ」について、スタジオで実際に試食しながらそのユニークさや名古屋人独特の発想について語り合った。スピードワゴンの名古屋時代の苦労話、名古屋弁とお笑いについての話などを挟んで、後半のテーマは名古屋の喫茶店。サラリーマンで賑わう朝のモーニングサービスや、24時間モーニングを売りにする店の様子などをリポート。研究者の分析などを交えて、名古屋独特の喫茶店の楽しみ方について伝えた。／メインパーソナリティー：兵藤ゆき／ゲスト：スピードワゴン（井戸田潤、小沢一敬）／リポーター：田中洋行アナ／名古屋局

『今夜も大入り！富山 南砺市・極楽亭』

3. 7／19:30～20:55

『今夜も大入り！渋谷・極楽亭』を地域の公開イベントとして展開。極楽亭の専属落語家のうち、立川志らく、林家木久蔵の落語を聞きながら、地域のネタを題材にしたクイズなど生きのいいトークを楽しんでもらった。富山県南砺市のじょうはな座で2月25日に収録。／出演：立川志らく、林家木久蔵／司会：森口博子、三橋大樹アナ

『渋谷マガZ～春よこい！スペシャル』

3. 8／19:20～21:55

09年度の定時放送を目前にした「若い人向けの新番組」のパイロット版。キャンパス情報や就活情報、生協の白石さんの悩み相談などのコーナーに加え、いわゆるオタクの人のこだわりを聞く「おたく拜見！」や、社会のもうひとつの顔を伝える「社会チラ見」など。「おたく拜見！」では、大阪万博オタクのタレント半田健人さんのリポートを紹介し、「社会チラ見」では、世界有数といわれるゲイ・タウン、新宿2丁目の今の様子をディレクター・リポートで伝えた。／ゲスト：倉田真由美（漫画家）／司会：だいたひかる（お笑いタレント）、浜口順子（タレント）、青井実アナ

『博多屋台 こまっちゃん～いらっしゃい、中国人旅行者』

3.20／20:30～20:55

舞台は九州博多の屋台。生っ粋の博多っ子、小松政夫さん扮する大将のもとには、常連のNHKのアナウンサーたちが、九州・沖縄で活躍する各界の人々を連れてやってくる。この日の「連れ」は、ここ数年大型客船で大挙訪れ、九州一の商業地区・福岡市天神の百貨店や家電量販店で買い物を楽しむ中国人富裕層の受け入れを担当している、大手旅行会社の営業部長。言葉や習慣の違いから起こるさまざまな出来事に対応し、中国からのお客さんに日本を楽しんでもらおうという奮闘

ぶりを披露してもらった。歴史的、地理的にも関係の深い九州・沖縄とアジアとの意外で密接な交流を紹介する09年度定時番組のパイロット版。／パーソナリティー：小松政夫／常連：比留間亮司アナ／福岡局

『亀淵昭信のいくつになってもロケンロール！スペシャルおためし版』 3.20／21:05～21:55

09年度新番組『亀淵昭信のいくつになってもロケンロール！』（火 21:05～21:55、デジタルラジオとのマルチユース番組）の放送に先駆け、聴取者への周知を行うことを目的としたパイロット番組。団塊の世代が、若いころ親しんだ洋楽ロックを中心に、いくつになっても若い心を失わない聴取者に向けて放送。民放の深夜番組『オールナイトニッポン』の名DJとして一世を風靡した亀淵昭信が、聴取者をたちまち青春時代に引き戻した、懐かしく楽しい音楽番組。／メッセージゲスト：加藤和彦、三宅裕司、泉谷しげる、かまやつひろし

ラジオ第2 放送

ラジオ第2：定時番組

『アラビア語講座』 新

土 6:00～6:30

第1回08.4.5／03年4月7日スタートの番組からアンコール放送。／前期は「話そう！アラビア語」（05年4～9月および06年短期集中講座の再放送）。講師：榮谷温子（東京外国語大学講師），ゲスト：イサム・ブカーリ，カリン・エルフェガーリ／後期は「アリフからはじめよう」（03年10月～04年3月の再放送）。講師：木下宗篤／テキスト発行／委託管理部，NED

『アンコール アンニョンハシムニカ・ハングル講座』

月～土 11:20～11:40

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。／入門編（月～木）「より上を目指すための基礎固め」（05年4～9月，06年10月～07年3月の再放送）。講師：キム・トンハン（東京大学教養学部講師），出演：イ・ホンボク，キム・テイ／4～6月，10～12月の応用編（金・土）「実践的で豊かな会話表現」（04年7～9月および05年7～9月の再放送）。講師：野間秀樹（東京外国語大学大学院教授），ゲスト：イ・ホンボク，アン・ウニ，キム・ウネ／7～9月，1～3月の応用編（金・土）「映画で出会う生き生き表現」（05年10～12月および07年7～9月の再放送）。講師：チャン・ウニョン（東京大学講師），出演：キム・ジョンデ，イ・ミヒョン／テキスト発行／委託管理部，NED

『アンコール イタリア語講座』

月～土 23:20～23:40

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。入門編（月～木）は「初歩から話そうステップ100」（03年4～9月，05年10月～06年3月の再放送）。講師：高田和文（ローマ日本文化会館館長），アシスタント：渡辺エリアーナ／4～6月，10～12月の応用編（金・土）は「ビジネスイタリア語会話」（05年4～6月および06年1～3月の再放送）。講師：鈴木マリア・アルフォンサ（早稲田大学講師），アシスタント：アレクサンドロ・キャンデッティ，レオナルド・ベヌッチ／7～9月，1～3月の応用編（金・土）は「オペラで学ぶイタリア語Ⅱ」（03年1～3月および05年7～9月の再放送）。講師：武田好（慶応義塾大

学非常勤講師), アシスタント: ダリオ・ポニッ
スイ/テキスト発行/委託管理部, NED

『アンコール スペイン語講座』

月～土 12:20～12:40

第1回08.3.31/過去の番組からアンコール放
送。入門編(月～木)「はじめてのスペイン語」

(03年4～9月および04年10月～05年3月の再放
送)。講師: 高垣敏博(東京外国語大学教授), パ
ートナー: ルミ・タニ・モラターヤ/応用編
(金・土)「ビジネス・スペイン語入門」(04年4
～9月および06年4～9月の再放送)。講師: 吉
田理加(通訳者), パートナー: ガブリエル・ベ
ギリスタイン/テキスト発行/委託管理部, NE
D

『アンコール 中国語講座』

月～土 11:00～11:20

第1回08.3.31/過去の番組からアンコール放
送。入門編(月～木)「耳たこ中国語」(07年4～
9月の再放送)。講師: 陳淑梅(東京工科大学教
授), 出演: 殷秋瑞, 李森/4～6月, 10～12月
の応用編(金・土)「S君の取材ノート3」(04年
10～12月および06年4～6月の再放送)。講師:
楊達(早稲田大学教授), 出演: 李洵/7～9月,
1～3月の応用編(金・土)「となりの劉さん」
(02年4～6月および03年4～6月の再放送)。
講師: 遠藤光暁(青山学院大学教授), ゲスト:
沈宝慶, 容文育, 陳涛/テキスト発行/委託管理
部, NED

『アンコール ドイツ語講座』

月～土 12:40～13:00

第1回08.3.31/過去の番組からアンコール放
送。/月・火は「リョースケ, ドイツの森を行
く」(07年10月～08年3月の再放送)。講師: 矢
羽々崇(独協大学教授), アンゲリカ・ヴェルナ
ー(独協大学准教授)/水・木は, 「読んで味わ
うドイツ語」(05年4月～06年3月の再放送)。講
師: 諏訪功(独協大学非常勤講師)ほか/金・土
は, 「歌で楽しむドイツ語」(02年4月～03年3月
および04年4月～05年3月の再放送)。講師: 田
辺秀樹(一橋大学大学院教授)ほか/テキスト発
行/委託管理部, NED

『アンコール フランス語講座』

月～土 11:40～12:00

第1回08.3.31/過去の番組からアンコール放
送。入門編(月～木)「ユミのバリひとり暮ら
し」(04年4～9月および05年10月～06年3月の
再放送)。講師: 杉山利恵子(明治大学教授), 協
力: ミカエル・フェリエ/4～6月および10～12

月の応用編(金・土)「旅を楽しく」(02年4～6
月および03年7～9月の再放送)。講師: 中村啓
佑(追手門学院大学教授), アドリアナ・リコ=
横山(関西大学准教授)/7～9月および1～3
月の応用編(金・土)「同時通訳のテクニクを
学ぼう」(03年4～6月および04年7～9月の再
放送)。講師: 菊地歌子(関西大学教授), アドリ
アナ・リコ=横山(関西大学准教授)/テキスト
発行/委託管理部, NED

『アンコール ロシア語講座』

土 21:15～21:55(2回分)

第1回08.4.5/過去の番組からアンコール放送。
ロシア語は応用編のみ。「ロシアでは? 日本で
は? III」(06年10月～07年3月の再放送)。講師:
滝川・ニキパレツ・ガリーナ(東京外国語大学客
員准教授), 生徒役: 竹内正実/テキスト発行/
委託管理部, NED

『英語ニュース』

月～日 14:00～14:10, 18:00～18:10

第1回95.4.3/全世界を対象に送信しているラ
ジオ国際放送の英語ニュースのうち, 2回を国内
でも放送。06年11月から携帯電話向けの英語ニ
ュースサービスも開始。/国際放送局

『英語ものしり倶楽部』 新

土 6:30～7:00

㊦土 22:35～23:05

㊦日 9:30～10:00

第1回08.4.5/世界の情報が入手でき, 英語の
深い教養を楽しく身に付けられる講座。毎回, 英
語を使って活躍する各界の著名人たちとのトーク
の中で, 転機になったひと言など, 役に立つ表現
を学ぶ。その他, 英語俳句や音楽, 在日外国人へ
のインタビューコーナーなど, 英語の多彩な世界
が楽しめる週末の番組。/講師兼MC: 大杉正明
(清泉女子大学教授), リサ・ヴォート, 奥野史
子, 別所哲也ほか/テキスト発行/委託管理部,
NED

『NHKカルチャーアワー』

月～土 20:15～20:45

日 20:00～21:00

㊦月～土 10:15～10:45

第1回01.4.2(月～土), 01.4.8(日)/50歳以
上の中高年層を主な対象に, 多様化する知的欲求
に応える教養番組。曜日ごとに自然・歴史・芸
術・文学などの分野を取り上げた。/月～土曜の
内容は以下に記述。日曜は年間タイトルを特に設
けず, 月ごとのシリーズ(4～5本)とした。
「人間を考えるシリーズ」(4回)では, ピータ

ー・フランクル（数学者・大道芸人）、姜尚中（東大教授）、吉岡忍（ノンフィクション作家）、池辺晋一郎（作曲家）、石井幹子（照明デザイナー）などの多彩な講師を迎えて人生論から時事的なテーマまで広範囲に取り上げた。そのほか「語りの力・声の魅力」一籠斎貞水（講師）ほか、「源氏物語の魅力」近藤富枝（作家）、「茶の文化史」小川後楽（煎茶家元）、「消えゆく日本文化の姿」姫田忠義（民族文化映像研究所長）、「白洲次郎～その生き方と素顔」青柳恵介（成城大学講師）ほか、「ゾウとサバンナ～ケニアで暮らした18年」中村千秋（アフリカゾウ国際保護基金客員研究員）、「謎解き考古学」荻谷俊介（俳優・日本考古学協会会員）、「劇場への招待」渡辺保（演劇評論家）などを放送した。

【科学と自然】 月／第1回07.4.2／地球温暖化などの問題が叫ばれる今日、最新の研究現場のエピソードを交え、科学の目から自然環境を見つめ直した。また、身近な鳥類や医学を取り上げた。「地球環境変動の現場から～植物は警告する」湯浅浩史（東京農業大教授）、「人類おもしろ進化学」馬場悠男（国立科学博物館人類研究部長）、「鳥を楽しむ暮らし」安西英明（日本野鳥の会主任研究員）、「アンチ・エイジングの科学」白澤卓二（順天堂大教授）を放送した。

【歴史再発見】 火／第1回05.4.5／歴史上エポック・メイキングとなった事象・人物を取り上げ、同時代の文献や残存資料を基本とし、現代の視点から歴史の意味を考えた。「武士の時代へ～東国武士団と鎌倉殿」関幸彦（日大教授）、「移動と空間の世界史～グローバルに時代を読む」宮崎正勝（元北海道教育大教授）、「田沼時代を生きた先駆者たち」鈴木由紀子（作家）、「日常の近世フランス史」長谷川輝夫（上智大教授）を放送した。／ガイドブック発行

【芸術その魅力】 水／第1回07.4.4／日本の伝統劇・歌舞伎や西洋美術、オペレッタなど、幅広く世界の芸術の魅力ユニークな講師に語っていただいた。「昭和の歌舞伎～名優と家の芸」藤田洋・水落潔・馬場順（いずれも演劇評論家）、「傑作はなぜ傑作なのか～西洋美術の魅力」田中英道（東北大名誉教授）、「魅惑のウイenna・オペレッタ」寺崎裕則（演出家・日本オペレッタ協会理事長）を放送した。

【文学の世界】 木／第1回07.4.7／千年紀を迎えた源氏物語、新訳でベストセラーとなったロシア文学、今の時代に高い関心を集める万葉集など人気の作品を一流の講師の解説で取り上げ、文

学の世界を堪能した。「ブロンテ姉妹～その知られざる実像を求めて」中岡洋（日本ブロンテ協会顧問）、「紫式部のみた京都」高橋文二（駒沢大教授）、「新訳“カラマゾフの兄弟”を読む」亀山郁夫（東京外国語大学長）、「万葉から万葉へ」坂本信幸（奈良女子大教授）・藤原茂樹（慶応大教授）を放送した。／ガイドブック発行

【俳句・短歌をよむ】 金／第1回07.4.6／さらに新しい表現の可能性に富み、愛好者も増えてきている俳句・短歌の世界を、第一線の俳人・歌人が独自の視点から語った。「山頭火のうしろすがた 放哉の咳」村上護（作家）、「短歌を作る楽しみ」佐佐木幸綱（歌人）、「芭蕉～求めないころ」石寒太（俳人）、「短歌の昭和を振り返る」三枝昂之（歌人）を放送した。

【漢詩をよむ】 土／第1回08.4.5／日本人が古くから親しんできた漢詩を、日本文化との複合性も加味しつつ多角的に鑑賞。08年度は「漢詩の来た道」と題して、その膨大な作品を「詩経」や「楚辞」などの古代歌謡から時代を追って紹介、詩の発生や展開、文学表現としての深まりまで着目することにより、漢詩の奥行きや広がりも味わった。／解説：宇野直人（共立女子大学教授）／テキスト発行／委託管理部、NED

『NHK高校講座』

月～金 19:15～20:15
土 18:55～20:15
㊦月～水・土 0:00～1:00
㊦木・金 0:00～0:40

第1回53.4／全国の通信制高校生にスクーリング減免措置のある番組として利用されている。11科目、年間42～84本の放送。08年度制作の新番組は「現代文」「国語表現Ⅰ」「英語Ⅱ」「数学Ⅱ」の4番組。一部制作は、「現代社会」「音楽Ⅰ」の2番組。このほか、再放送番組として「国語総合」「古典」「オーラル・コミュニケーションⅠ」「倫理」「保健体育」の5番組。07年度より、放送後に全科目のインターネットでのストリーミング配信を開始。放送に加えて全番組をいつでも聴取できるためかなりの反響がある。また、通信制高校の前・後期2期制、10月入学生に対応するための、再放送も行っている。毎年10月から始まり、本放送から半年遅れで、その年度の「高校講座」をすべて再放送している。／一部の科目でテキスト発行／委託管理部、NED

『お話でてこい』

月・水・金 10:00～10:15
㊦火・木・土 10:00～10:15

第1回54.11.8／古今東西の昔話や名作童話を一流の語り手の「お話」でつづる。オリジナルの音楽と効果音を織り込み、物語のイメージを豊かに子どもたちに伝える。／委託管理部，名古屋局，NED

『おはなしの旅～低学年』 月 9:30～ 9:45
 ㊦木 9:30～ 9:45
 『おはなしの旅～中学年』 火 9:30～ 9:45
 ㊦金 9:30～ 9:45
 『おはなしの旅～高学年』 水 9:30～ 9:45
 ㊦金 9:45～10:00

第1回『低学年』03.4.7，『中学年』03.4.8，『高学年』03.4.7／小学校向けの国語番組。子どもに与えたい優れたおはなしを専門家の朗読やラジオドラマで紹介。子どもの想像力をはぐくみ、ことばの世界を広げることをねらった。／出演：『低学年』熊倉一雄，中村メイコほか，『中学年』中村メイコ，橋爪功ほか，『高学年』江守徹，奈良岡朋子ほか／教師用テキスト発行／学校教育番組部

『株式市況』

月～金 17:00～18:00

株の取引がある月～金曜に、東京証券取引所と大阪証券取引所の終値を伝えている。時間は東証が45分間、大証が15分間。すべての銘柄は放送できないので、売買の多いものなど経済の動向を反映するものを中心に伝えている。／ラジオセンター

『気象通報』

月～日 9:10～ 9:30，16:00～16:20，
22:00～22:20

日本と周辺地域・海域の海上気象を含む気象情報。漁業・港湾・マリナレジャー・教育・山岳の関係者など利用者は幅広い。／ラジオセンター

『基礎英語1』

月～金 6:00～ 6:15
 ㊦月～金 18:30～18:45
 ㊦月～金 21:00～21:15

第1回05.4.4／初めて英語を学ぶ人のためのラジオ講座。新たに週5回のカリキュラムで、学習項目を何度も繰り返して学び、身に付けていく。08年度の特徴は、聞く、話す、読むに加えて、書く基礎も学ぶ。ビート音楽に乗せての新しい語彙の発音練習も定番となった。／講師：木村松雄（青山学院大学教授）／レギュラーゲスト：ジャンカ・サウスウィック，リチャード・アレン／テキスト発行／委託管理部，NED

『基礎英語2』

月～金 6:15～ 6:30
 ㊦月～金 18:45～19:00
 ㊦月～金 21:15～21:30

第1回05.4.4／『基礎英語1』に続く年間語学番組。今回の舞台はハワイ。「きょうのひと言」のバリエーションから日常会話に応用できる表現を学ぶ。中学生以外のリスナーからも好評を得た。／講師：高本裕迅（白百合女子大学教授）／出演：マイコ・コーブランド，トム・メレスキ／テキスト発行／委託管理部，NED

『基礎英語3』 新

月～金 6:30～ 6:45
 ㊦月～金 19:00～19:15
 ㊦月～金 21:30～21:45

第1回08.3.31／『基礎英語1』『基礎英語2』に続くラジオ英語講座として新設。毎回、文法のポイント1項目と、聞き取りにくく発音しにくい音声のポイントや頻出フレーズなどのコミュニケーションポイントを、1項目に絞って解説。中学校で学ぶ英語を使いこなし、自分で客観的にレポートできるスピーキング力も身に付ける。／講師：阿野幸一（文教大学准教授），パートナー：ガイタノ・トタロ，ジョアンナ・デイ／テキスト発行／委託管理部，NED

『くらしで使えるポルトガル語』 新

土 8:50～ 9:05
 ㊦土 21:00～21:15
 ㊦土 23:05～23:20

第1回08.4.5／07年度夏期集中講座の再放送。講師：武田千香（東京外国語大学准教授），エリゼウ・ピシテリ（東京外国語大学客員准教授）／テキスト発行／委託管理部，NED

『こころをよむ』

日 6:45～ 7:25
 ㊦日 13:20～14:00

第1回85.4.7／文学・生物学・宗教といった各分野の第一人者が、現代社会における古い・家族・環境など、さまざまな問題を考察、よりよい未来を構築するための心のあり方を探る番組。08年度は「“感覚的”マンガ論」牧野圭一（京都精華大学名誉教授），「日本の息吹～しなやかに凜として」山折哲雄（宗教学者），「地球環境へのまなざし」宮脇昭（横浜国立大学名誉教授），「映画監督たちの肖像～日本の巨匠10人の軌跡」佐藤忠男（日本映画学校校長）を放送した。／テキスト発行／委託管理部，NED

『古典講読』

土 17:00～17:45

㊥日 6:00～6:45

第1回85.4.6／長い間、読み継がれてきた古典文学には、日本人の心の源泉が描かれているとも言われる。その魅力あふれる世界をていねいな解説と朗読で読み解いていく。08年度は「源氏物語」の成立千年を記念してハイライト場面を選び、日本人の心の機微や美徳など、時を経ても色褪せない不滅の魅力を紹介した。／解説：伊井春樹（大阪大学名誉教授）／委託管理部，NED

『ことば力アップ』 新

土 17:45～18:00

㊥日 14:10～14:25

㊥翌週土 10:45～11:00

第1回08.4.5／『はなす きく よむ』（第1回00.4.8～08.3.29）をリニューアルしてタイトルも変更。コミュニケーションへの関心の高まりを受けて、より専門性の高い内容に改変した。日本語センターのベテランアナウンサーを中心に、朗読、プレゼンテーション、敬語など、さまざまなテーマで、コミュニケーションに役立つノウハウを伝えた。アナウンサーの蓄積を社会貢献につなげようとテキストも発行。アナウンサーが仕事の現場で感じたことを伝えるエッセーも人気となった。／アナウンス室

『視覚障害者のみなさんへ』

日 19:30～20:00

㊥日 7:30～8:00

第1回64.4.9／福祉関連の制度や仕組みの最新情報やその課題、働く現場のレポートなど幅広いテーマを取り上げるとともに、9月には『全国盲学校野球大会決勝戦』の模様を実況録音で伝えた。また当事者参加を重視、若い視覚障害者のリポーターが多く登場した。正月には特集「働く現場スペシャル」を放送した。／司会：山田誠浩／文化・福祉番組部

『実践ビジネス英語』

水～金 22:35～22:50

㊥日 10:30～11:15

第1回02.4.1／08年度から『ビジネス英会話』を引き継いでスタート。英語を使って国際舞台で活躍したい、すでにながりの英語力はあるが、さらなる上を目指したいリスナーにお勧めの講座。シカゴに本社を置く会社に赴任した日本人が主人公のビニエット（ミニドラマ）からは、国際ビジネスに関連する場で、今実際に起こっている事象や、現実的な英会話を学べる。英語能力試験にも

役立つリスニング問題もあり、話す・聞くの両面から英語力を磨ける、通年の番組。なお、07年度から、インターネットで番組の音声配信を行っており、忙しいビジネスパーソンに好評を得ている。／講師：杉田敏（株式会社ブラップジャパン代表取締役社長）／パートナー：松下クリス、岩本スーザン／テキスト発行／委託管理部，NED

『社会福祉セミナー』

土 18:30～18:55

㊥日 12:30～12:55

第1回93.4.10／1年間を通じ社会福祉について伝えた。「基本概念」「各分野論」「介護の役割・方法」「国際協力」などのテーマを、年ごとの制度の変化に対応して専門家が解説し、現場レポートや有識者の福祉観も紹介した。／テキスト発行／文化・福祉番組部，NED

『宗教の時間』

日 8:30～9:00

㊥日 18:30～19:00

第1回52.1.4／宗教的体験や実践、法話、解説など、さまざまな角度から宗教に関する話題を取り上げる。毎月第2週は福田亮成氏（大正大学名誉教授）による「空海「秘蔵宝鑰をよむ～心の秘宝を開く鍵」」を1年間シリーズで放送。／文化・福祉番組部

『スペイン語ニュース』

月～日 18:10～18:20

第1回02.4.1／日本に居住する南米スペイン語圏出身者を主な対象として、スペイン語ニュースを国内向けに放送。06年12月から携帯電話向けのスペイン語ニュースサービスも開始。／国際放送局

『チャロの英語実力講座』 新

月～土 7:00～7:15

㊥月～土 20:45～21:00, 22:20～22:35

㊥日 22:20～23:50

第1回08.3.31／『リトル・チャロ』クロスメディア企画のうちのラジオパート。テレビ以上に充実したラジオ版のドラマを聴き、そこに出てきた英語表現を学ぶ。月曜は、ラジオドラマを聞き、あらすじを理解。火～木曜は、その中に出てくるフレーズを学習。金曜は、再びドラマを聞き込むことで「状況の中で生きた英語表現」を身に付ける。土曜は、その週に勉強した構文を別のシチュエーションで使えるようになっているかをテストする。これらを繰り返すことで、英語力の定着を図った。／講師：榎木玲子（法政大学教授）／出演：ジョン・オコーナー、アリン・タイシ、クリ

スチャン・ジェームス，シルビア／テキスト発行
／委託管理部，NED
『中国語ニュース』

月～日 13:00～13:10

第1回96.4.1／日本に居住する中国系の人々を
主な対象として，中国語ニュースを国内向けに放
送。07年2月から携帯電話向けの中国語ニュース
サービスも開始。／国際放送局

『徹底トレーニング英会話』

月～土 14:45～15:00

㊦月～土 23:40～23:55

㊦日 14:30～16:00

第1回06.4.3／人気の徹底トレーニングシリ
ーズの06年4月～07年3月までの再放送。／講師：
岩村圭南（コンテンツ・クリエイター）／パート
ナー：ジュリア・ヤマコフ，グレッグ・デール／
テキスト発行／委託管理部，NED

『ともに生きる』

日 8:00～8:30

㊦日 19:00～19:30

第1回62.4.8，改題94.4.10／障害当事者の長崎
圭子さんをメインキャスターに，障害のある人た
ちの暮らしに役立つ情報やちょっとした話題をピ
ア（仲間）の感覚を大切に，しながら提供する。
取り上げるテーマは障害者自立支援法改正など時
事性の高いものから，太りすぎをどう解消するか
まで，多彩。お正月には新春スペシャルと銘打っ
て，1時間の特別版を放送した。／出演：長崎圭
子，桂こけ枝／大阪局

『入門ビジネス英語』 新

月・火 22:35～22:50

㊦日 10:00～10:30

第1回08.3.31／ビジネス英語の入門番組とし
て，ビジネスシーンで必要な考え方やスキルがシ
ンプルな表現とともに身に付くことを目指した講
座。『基礎英語3』終了程度の簡易な表現を使用
し，スキットは，ニューヨーク在住のアメリカ人
ビジネスコンサルタントによる書き下ろし。これ
らを使って，ビジネスで役立つ表現やスキルを磨
く。また，日本人ビジネスパーソンをゲストに招
き，お勧めフレーズなど，現場の生の声を伝える。
番組はインターネットでも配信しており，学習の
継続に役立っているという声が多く寄せられた。
／テキスト執筆：ジョン・K・ギレスピー
（ビジネスコンサルタント）／出演：ジェイン
ソン・ハッチェル，AIKO [DJ AIKO62]／テキス
ト発行／委託管理部，NED

『ハングルニュース』

月～日 13:10～13:20

第1回96.4.1／日本に居住する韓国・朝鮮の
人々を主な対象に，ハングルニュースを国内向け
に放送。07年2月から携帯電話向けのハングルニ
ュースサービスも開始。／国際放送局

『文化講演会』

日 21:00～22:00

㊦祝 17:00～18:00

第1回76.4.25 (R1)，80.4.11 (R2)／日本各地
で開催される多様な講演会の中から，変わり行く
社会情勢の中で伝えたい内容を厳選し，紹介した。
08年度は「歴史の中の女性の発見」永井路子（作
家），「ふたりで詩の話をしよう」谷川俊太郎（詩
人），「祖国とは国語」藤原正彦（お茶の水女子大
学教授），「天地人を語る 直江兼続の義と愛」火
坂雅志（作家），「マグネシウム・エネルギー社会
の到来」矢部孝（東京工業大学教授）などを放送
した。／委託管理部，NED

『邦楽のたのしみ』

土 9:30～10:00

第1回82.4.11／CD等で邦楽の名演奏を聴き，
さまざまなジャンルで活躍する邦楽ファンに，そ
の人なりの邦楽の楽しみ方，とらえ方を語って
もらうエッセーの番組。／出演：藤本義一，齋藤孝，
浜村淳，松井今朝子ほか／音楽・伝統芸能番組部
『ポルトガル語ニュース』

月～日 18:20～18:30

第1回95.4.3／日本に居住するブラジル出身者
を主な対象として，ポルトガル語ニュースを国内
向けに放送。06年12月から携帯電話向けのポルト
ガル語ニュースサービスも開始。／国際放送局

『まいにちイタリア語』

月～金 7:45～8:00

㊦月～金 16:45～17:00

第1回90.4.2／08年度から『イタリア語講座』
は，月～金曜までの5日間，1回15分の放送とな
った。／前期は，週の前半と後半で2種類の講座。
月～水は「文法塾～伊語事始」講師：野里紳一郎
（東京大学講師），ルチアーナ・ギッツォーニ
（東京芸術大学講師）。木・金は「リスニング問
題に挑戦！～初級編」（07年4～9月の再構成）
講師：中矢慎子（国立音楽大学講師），マルコ・
ピオンディ（慶応義塾大学講師）。／後期は，講
座を3段階に分けた。月・火の入門編は「初級文
法をきわめよう」（07年4～9月の再構成）講
師：京藤好男（慶応義塾大学講師），パートナ
ー：マルコ・ピオンディ，モニカ・ブレッサッリ

ア。水・木の中級編は「世界遺産を巡る旅」(10～12月)講師：ラウラ・サバットリイ、横山修一郎、および「Un passo avanti! ～今さら聞けない文法のフシギ～」(1～3月)講師：入江たまよ、カルラ・フォルミサーノ。金の上級編は「ジュークボックス・イタリアーノ」DJ：鈴木マリア・アルフォンサ(早稲田大学講師)、パートナー：ルカ・チェッカテリ/テキスト発行/委託管理部, NED

『まいにちスペイン語』

月～金 8:00～ 8:15

㊦月～金 13:35～13:50

第1回56.4.1/08年度から『スペイン語講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。/前期は、下田先生の留学経験を基にしたスキットを使って、スペイン語の基礎を学ぶ講座。「エリのドキドキ☆スペイン留学」。講師：下田幸男(立教大学兼任講師)、パートナー：マルタ・マルティン・モリーナ/後期の舞台はアルゼンチン。日系3世の青年・ケンが、自分のルーツ探しのために南米のバリと言われるブエノスアイレスを旅する。ストーリーを通じて、スペイン語の基礎を学ぶ。「ほくのブエノスアイレスをさがして」(07年4～9月の再構成、一部新作)。講師：大岩功(早稲田大学講師)、出演：ソーサ・ビビアナ・マルビーナ/テキスト発行/委託管理部, NED

『まいにち中国語』

月～金 8:15～ 8:30

㊦月～金 15:30～15:45

㊦月～金 22:50～23:05

㊦日 11:15～12:30

第1回56.11.4/08年度から『中国語講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。/前期「基礎を固める6か月」。講師：荒川清秀(愛知大学教授)、出演：容文育、呉志剛/後期は、初級中国語を学んだ人達を対象にした「ちがいのわかる6か月」。講師：小野秀樹(首都大学東京准教授)、許硯輝、黄鶴/テキスト発行/委託管理部, NED

『まいにちドイツ語』

月～金 6:45～ 7:00

㊦月～金 15:15～15:30

第1回52.9.1/08年度から『ドイツ語講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。/前期の月・水・金は、入門者に向けた基礎固めの講座「カナ」手本ドイツ語。講師：保阪良子(学習院大学准教授)、出演：ダニエル・ケ

ルン(学習院大学講師)、ブリッタ・シュレンス(立教大学講師)。火・木は、ドイツ語文法に特化した講座「フェリックスの日記帳」。講師：太田達也(慶応義塾大学総合政策学部准教授)、出演：マルコ・ラインデル、大澤詩織/後期の月～木は、スリルとサスペンスに満ちたスキットを聞きながら、知らず知らずにドイツ語の基礎を身に付けられる日常会話初歩を学ぶ「謎の女」。(07年4～9月の再構成)講師：清野智昭(千葉大学准教授)、出演：ヴィンチェンツォ・スパニョーロ(千葉大学講師)、ベッティーナ・オルトマン(東京ドイツ文化センター講師)。金は「ドイツ語発音クリニック」と題し、発音に特化した講座。講師：清野智昭(千葉大学准教授)、出演：ヴィンチェンツォ・スパニョーロ(東京外国語大学講師)、ナディーネ・カチマレック、ヴォルフガング・ヘルツレ/テキスト発行/委託管理部, NED

『まいにちハンゲル講座』

月～金 7:15～ 7:30

㊦月～金 14:30～14:45

㊦月～金 23:05～23:20

㊦土 7:15～ 8:30

第1回84.4.2/08年度から『アンニョンハシムニカ～ハンゲル講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。/前期は、ゲーム感覚で文字の基本学習から始まり、旅行で実際に使える表現を学ぶ「クイズで学ぼう!旅のハンゲル」。講師：チョ・ヒチョル(東海大学外国語教育センター教授)、ゲスト：ソク・ヒョンギョン/10～12月は、リスニング力強化にポイントを置いた「ハンゲル耳」を鍛えよう!。講師：木内明(東洋大学准教授)、ゲスト：ソ・ウナ/1～3月は、引き続き木内先生のリスニング講座第2弾「ドラマで鍛える“ハンゲル耳”」。講師：木内明(東洋大学准教授)、ゲスト：オ・ソンヨン/テキスト発行/委託管理部, NED

『まいにちフランス語』

月～金 7:30～ 7:45

㊦月～金 13:20～13:35

第1回52.4.14/08年度から『フランス語講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。月～水は初級編。/前期は、大学生ナミのパリ留学の生活をスキットにフランス語の基礎を学ぶ「ナミのおいしいパリ日記」。講師：清岡智比古(明治大学理工学部准教授)、レナ・ジュンタ(東京日仏学院講師)/後期は、フランス人デザイナー、ジュリアンと大学生のさくらが、日本

各地を旅し、2人の会話を基に、基本表現を学ぶ「ジュリアンとさくらのJaponウォッチング」(07年4～9月の再構成)。講師：藤田裕二(玉川大学教授)、シルヴィ・ジレ・鈴木(玉川大学教授)／木・金は「中級編」。前期は「ディアローグ三銃士」。このうち、4～5月は講師：セドリック・リヴォー(東京日仏学院講師)、パートナー：明石伸子(早稲田大学非常勤講師)。6～9月は、講師：ガエル・クレピュー(東京日仏学院講師)、セバステイアン・ジャフレド(東京日仏学院講師)、パートナー：常盤僚子(東京日仏学院講師)、西川葉澄(上智大学講師)。10～12月は「A table ～文と語彙を料理する」。講師：井上美穂(慶応義塾大学講師)、ベルナル・パスカル・レウルス(日本女子大学教授)、ニコラ・ガイヤール(慶応義塾大学講師)、1～3月は「オペラで学ぶ～運命の女“カルメン”を読む」。講師：川竹英克(明治大学経営学部教授)、ジョジアヌ・ピノン(白百合女子大学教授)／テキスト発行／委託管理部, NED

『まいにちロシア語』

月～土 8:50～9:05
 ㊟月～土 16:30～16:45

第1回56.11.4/08年度から『ロシア語講座』は、月～金曜までの5日間、1回15分の放送となった。／前期は、キリル文字の説明と発音指導から始める「文字からゆっくり～カタツムの初級編」。講師：黒田龍之助(言語学者)、ゲスト：藤枝・グトワ・エカテリーナ／後期は、中級編と実践編に分けて放送。中級編(月～水)は、前期の黒田先生が担当した「文法もゆっくり～カタツムの中級編」。講師：黒田龍之助(言語学者)ゲスト：藤枝・グトワ・エカテリーナ、実践編(木・金)は、「会話力アップの実践編」。講師：貝澤哉、ゲスト：オクサーナ・ビスクノーワ、ヴァレリー・グレチコ／テキスト発行／委託管理部, NED

『みんなのコーラス』

R2 月～木 9:45～10:00
 FM ㊟木 10:00～11:00

第1回95.4.10/「NHK全国学校音楽コンクール」の新しい課題曲を発表し、合唱指揮者のアドバイスを交えて紹介。また、コンクール参加校の自由曲の演奏に講評を加えて放送した。／出演：古橋富士雄、清水敬一ほか／学校教育番組部

『名曲スケッチ』

R2 月～土 8:30～8:40
 12:10～12:20
 R1 日 22:45～22:55
 FM 火～土 0:50～1:00

第1回93.4.9/テレビ番組『名曲アルバム』の音楽素材を2曲選び、アナウンサーによる簡単なコメントを添えた10分間のミニ番組。／音楽・伝統芸能番組部

『名曲の小箱』

R2 日 7:25～7:30
 日 16:35～16:40
 23:50～23:55
 FM 月～日 5:50～5:55
 土・日 22:55～23:00

第1回84.4.2/テレビ番組『名曲アルバム』の音楽素材を基にしたミニ番組。アナウンサーの簡単なコメントを添え、月間に4曲を繰り返し放送している。／音楽・伝統芸能番組部

『やさしい日本語』

土 14:30～14:45
 ㊟日 16:20～16:35

第1回95.4.9/外国人向けの英語による日本語基礎講座。新シリーズ「ジャパン・マイ・ラブ」は、合気道を勉強するために来日した主人公レオが、留学中に遭遇する出来事を通じて、100の基本フレーズが身に付くよう構成されている。友人同士の砕けた会話から目上の人との会話や、体の部分を使った慣用句、有名な四季の俳句なども紹介。難しい文法説明は避け、日本語に親しんでもらうことを目指した。／国際放送局

『ラジオ英会話』 新

月～金 15:45～16:00
 ㊟月～金 21:45～22:00
 ㊟日 16:45～18:00

第1回08.3.31/スピーキング力、リスニング力がバランス良く鍛えられ、場面別・目的別に発話できるようになることを目指した英会話講座。毎月1つのテーマを決めて、着実に学習。通常のダイアログに加え、創作ラジオCMや天気予報、交通情報など、多様な素材を使って、現実のシチュエーションでも困らない実践力を養う。／講師：遠山顕(コミュニケーション代表)、パートナー：ケイティ・アドラー、ジェリー・ディヴィッドソン／テキスト発行／委託番組部, NED

『朗読』

月～金 10:45～11:00

第1回62.4.4/明治から昭和までの日本文学の

名作や西洋古典の翻訳を中心にシリーズを組み、著名俳優やアナウンサーの朗読でじっくり聴かせた。「坂口安吾作品集2」米倉齊加年、「織田作之助作品集」橋爪功、「太宰治～お伽草子 その2」近石真介、などを放送した。／委託管理部，NED

『私の日本語辞典』

土 16:20～17:00

㊥土 13:20～14:00

第1回92.4.12 (R1)／言葉を専門に研究する学者や作家だけでなく、医師・歌手・俳人など、さまざまなジャンルで活躍する方を招き、自身の人生を振り返りながら日本の文化や言葉について考える、日本語を多面的にとらえて語っていただく番組。08年度は「歌い続けて55年」ペギー葉山（歌手）、「若さを保つことば」大友英一（医師）、「辞書作り50年」松井栄一（国語学者）、「俳句の世界」宇多喜代子（俳人）、「江戸の翻訳文化」岡田袈裟男（立正大学教授）などを放送した。／委託管理部，NED

ラジオ第2：特集・特別番組

『ティーンズラジオ2008』

8.14～15／9:30～10:00

08年で55回目となった「NHK杯全国高校放送コンテスト」には、全国から1,003本のラジオ作品が寄せられた。番組では、創作ドラマ部門、ラジオドキュメント部門の中から優勝・準優勝など入賞作品を2回シリーズで紹介した。／ナレーター：昌子洋子／学校教育番組部

『全国盲学校野球大会決勝戦』

9. 2／1:00～2:46

8月22日に行われた、視覚障害者にとっての甲子園、全国盲学校野球大会決勝戦の模様を、実況録音で伝えた。／文化・福祉番組部

『伝えたい わたしの高校生活』

12.15～18／9:30～10:00

08年11月23日に行われた「第56回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」から、「文部科学大臣賞」「NHK会長賞」などの各賞入賞者、それぞれ2人の発表内容を、4本にまとめて紹介した。／委託管理部，NED

『英語で挑戦！手づくり英会話～創作スキット・コント大会』

12.31／9:30～11:00

㊥12.31／14:15～15:45

ラジオ講座の普及および学習を継続してもらう

1つの起爆剤として、「聞いて勉強しているのは1人でなく仲間がいる」と体感できるよう、イベントと放送を連動させた。『基礎英語1・2・3』合同で、一般公募したスキットを選抜し、結果発表とそのスキットを基にした公開授業のイベントを、11月3日に開催、年末特集として放送した。1～3月の定時番組内では、優秀作品を紹介した。／出演：木村松雄（青山学院大学教授）、ジャンカ・サウスウィック、リチャード・アレン、ベンジャミン・ビアズリー、高本裕迅（白百合女子大学教授）、マイコ・コブランド、トム・メレスキ、ミミコ・ゴールドSTEIN、ブランドン・サヴィル、ジェイミー・スカイ、ミシェル・タケ、阿野幸一（文教大学准教授）、ガイタノ・トタロ、ヴィッキー・グラス、ユウコ・ユノカワ、ケリー・ハーバルドスラッド、マックス・パワーほか／委託管理部，NED

『特集・視覚障害者のみなさんへ』

1. 1／21:00～22:00

視覚障害者の働く現場は、少しずつ広がっている。国語教師、保育士、図書館職員など視覚障害者が生き生きと働く現場をレポート。求められる支援や職を得るまでの苦労、そして今後の課題などを、スタジオでのトークを交えながら伝えた。／文化・福祉番組部